長 衛 小 屋 ト イ レ 改 修 工 事
図 面 リ ス ト

建 築 主 体 工 事		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A － 00	図面リスト	NO SCALE
A － 01	特記仕様書 -01	NO SCALE
A － 02	特記仕様書 -02	NO SCALE
A － 03	特記仕様書 -03	NO SCALE
A － 04	特記仕様書 -04	NO SCALE
A － 05	配置図・案内図・面積表	S=1:200・400
A － 06	現況図	S=1:100
A － 07	仕上表・建具表	S=1:50
A － 08	平面図	S=1:100
A － 09	屋根伏図・立面図	S=1:100
A － 10	平面詳細図	S=1:50
A － 11	ピット平面詳細図	S=1:50
A － 12	天井伏図	S=1:50
A － 13	矩計図 -1	S=1:30
A － 14	矩計図 -2	S=1:30
A － 15	矩計図 -3	S=1:30
A － 16	展開図-01（前室・共用トイレ）	S=1:50
A － 17	展開図-02（男子トイレ・女子トイレ）	S=1:50
A － 18	展開図-03（男子トイレ・女子トイレ）	S=1:50
A － 19	トイレブース詳細図	S=1:50
A － 20	部分詳細図	S=1:5・10・20
A － 21	外構図・外構詳細図	S=1:10・30・50
A － 22	基礎伏図・土間伏図	S=1:50
A － 23	部材リスト・基礎詳細図・床伏図	S=1:30・50
A － 24	梁伏図・小屋伏図	S=1:50
A － 25	軸組計算表	S=1:100
A － 26	軸組 継手・仕口リスト	S=1:100

電 気 設 備 工 事		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E － 01	電気設備特記仕様書	NO SCALE
E － 02	分電盤結線図	NO SCALE
E － 03	照明器具姿図	NO SCALE
E － 04	電気設備図	S=1:50

機 械 設 備 工 事		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
M － 01	特記仕様書	NO SCALE
M － 02	凡例　器具表　機器表	NO SCALE
M － 03	機械設備平面図	S=1:100
M － 04	便所詳細図	S=1:50
M － 05	汲取り排水槽詳細図	S=1:50

擁 壁 工 事		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
W － 01	配置図・案内図・面積表	S=1:200・400
W － 02	現況図	S=1:100
W － 03	擁壁位置図	S=1:100
W － 04	擁壁 詳細図	S=1:30
W － 05	擁壁 作業用借地面積求積計算	S=1:100

承 認	設 計	担 当		縮 尺	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事	
				設計年月日	図面名称	図面リスト	No. A- 00

長　衛　小　屋　ト　イ　レ　改　修　工　事
設　　計　　図

【 令和７年２月 】

南　ア　ル　プ　ス　市

長衛小屋トイレ改修工事　設計図

令和 5 年 12 月

仕 様 書

Ⅰ　工事概要

敷地所在地	南アルプス市戸安戸倉野呂川入1685
都市計画区域	都市計画区域外
防火指定	防火指定無し
その他の地域地区	県有林（保安林）
道路	登山道
敷地面積	577.20 ㎡
用途地域	指定無し
建ぺい率	41.23 %
容積率	60.28 %
建物の主要用途	山小屋　屋外トイレ
工事の種類	増築（棟別新築）
棟数	１棟
構造・階数	木造（在来工法）・平屋建て
建築面積	64.25 ㎡
延べ床面積	61.69 ㎡
最高の高さ	5.62 m
最高の軒高さ	3.58 m
消防法上の有窓階・無窓階	
下水の放流形式	汚水：汲み取り便槽、雑排水：地下浸透方式

工事種目　図示の内容全て

Ⅱ　工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。

・「3. 工事種目」のうち ＿＿＿＿＿＿＿＿ の工事範囲は下記表のとおりとする。

ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2　仮設工事	工事範囲全て
3　土工事	工事範囲全て
4　地業工事	工事範囲全て
5　鉄筋工事	工事範囲全て
6　コンクリート工事	工事範囲全て
7　鉄骨工事	
8　コンクリートブロック・ALCパネル押出成形セメント板工事	工事範囲全て
9　防水工事	工事範囲全て
10　石工事	
11　タイル工事	
12　木工事	工事範囲全て
13　屋根及びとい工事	工事範囲全て
14　金属工事	
15　左官工事	工事範囲全て
16　建具工事	工事範囲全て
17　カーテンウォール工事	
18　塗装工事	工事範囲全て
19　内装工事	工事範囲全て
20　ユニット及びその他の工事	工事範囲全て

Ⅲ　建築工事仕様

1. 共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という。）による。

（2）工事関係提出書類等については、南アルプス市教育委員会 教育総務課 「請負工事 事務処理要領書（最新版）」を熟読し遺漏の無いように提出すること。

2. 特記仕様

（1）項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。

⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙ 印と ⓐ 印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（別　　）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。

（6）G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	① 適用基準等	⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　最新版） ⊙工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
	② 工事実績情報の登録	※適用する　(1.1.4)
	③ 施工計画書	⊙工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。　(1.2.2) ⊙施工計画の内容を変更する必要が生じた場合は、監督職員に報告するとともに、施工に支障がないよう適切な措置を講ずる。
	④ 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　(1.3.3) ・要　　⊙不要
	⑤ 施工条件	工事着手については監督職員と協議し着手する。　(1.3.11) 令和　年 ３月　4　5　6　7　8　9　10　11　12　1　2　3　4月
	⑥ 発生材の処理等	※現場説明書による　⊙構外搬出適切処理　(1.3.8)
	⑦ 建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧ 化学物質を放散する建築材料等	建築材料の使用制限 建築材料等について、規制の対象となる範囲は下地、仕上げ材共にＦ☆☆☆☆または規制対象外の建材を用いることとし、該当する材料が無い場合は監督職員の承諾を受けＦ☆☆☆のものを採用するを含む）を使用すること。
	⑨ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	(1.5.2) 適用工事種別：⊙鉄筋施工（鉄筋組立て作業） コンクリート工事：⊙型枠施工 鉄骨工事：⊙とび ブロック・ALCパネル工事：・ブロック建築　・ALCパネル施工 防水工事：・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業　・塗膜防水工事作業　⊙シーリング防水工事作業 石工事：・石材施工（石張り施工） タイル工事：・タイル張り 木工事：⊙建築大工 屋根及びとい工事：⊙建築板金（内外装板金作業） 金属工事：・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） 左官工事：⊙左官 建具工事：⊙サッシ施工　⊙ガラス施工　・自動ドア施工 カーテンウォール工事：・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工 塗装工事：⊙塗装（建築塗装作業） 内装工事：・プラスチック系床仕上げ工事作業　⊙ボード仕上げ工事作業　・表装（壁装作業） 植栽工事：・造園
	⑪ 電子納品	・工事関係図書を電子納品すること ・適用基準は以下の通りとする。　（作成・納品の基準、納品する資料の範囲等） ・書面による署名及び捺印の取り扱い（電子成果物の原本性保証に関する処置） 電子納品の導入にあたっては、従来の署名または捺印に代わる措置として、 電子署名の導入が求められるが、電子署名の導入は現時点では困難であるため、 １）　受注者は電子媒体の内容の原本性を照明するために、電子媒体に署名又は捺印の上、提出する。 ２）　共通仕様書に基づく各書面に対する署名又は捺印は、上記１）の措置を持って代えることができる ⊙設計図CADデータ貸与する。 ⊙設計図CADデータの著作権は以下の者にある 貸与するCADデータを当該工事における施工図面又は完成図の作図のため以外に使用してはならない。
	12　化学物質の濃度測定	(1.5.9) 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの５物質について測定し、厚生労働省で定める指針値以下の濃度であることを確認し、測定結果報告書を監督員に提出すること。（測定結果が指針値を超えた場合は、発生源を特定し、換気などの措置を講じた後、再度測定を行う。） 測定対象科学物質：厚生労働省の指針値（25℃の場合） ホルムアルデヒド：0.08 ppm（　100μg/m³） トルエン：0.07 ppm（　260μg/m³） キシレン：0.20 ppm（　870μg/m³） エチルベンゼン：0.88 ppm（3,800μg/m³） スチレン：0.05 ppm（　220μg/m³） 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・図示　・全居室 測定箇所数　・図示　・１２箇所 測定結果の報告
	⑬ 完成図等	※作成する　・作成しない　(1.7.1～3)（表1.7.1） ※完成図　提出部数　※各3部　・　部（A3版第2原図及び電子媒体（CD-R）） ※施工計画書　提出部数　※1部　・　部 ※施工図　提出部数　※1部　・　部 ※保全に関する資料　提出部数　※1部　・　部
	⑭ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。 分類・規格／撮影箇所数／提出部数／原板の大きさ（mm） ⊙カラー　※キャビネ版／外部（7）内部（各室４）／※2　・6／※100×125以上 ・カラー半切木製パネル　324×400（mm）／外部（　）内部（　）／※ 2 ・電子データ／外部（　）内部（　）／※ 2／※200万画素以上　※300dpi以上 100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。 電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする）
	⑮ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑯ 設計ＧＬ	現況ＧＬを設計ＧＬとする
	⑰ 工事写真	⊙「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。
② 仮設工事	① 監督職員事務所	※設ける　(2.3.1) 規模　・１号　・２号　・３号　・４号　・５号 ⊙設けない ・備品（必要備品は適宜設置）
	② 工事用水	構内既存の施設 ・利用できる（　※有償　・無償　）　※利用できない
	③ 工事用電力	構内既存の施設 ・利用できる（　※有償　・無償　）　※利用できない
③ 土工事	1　埋戻し及び盛土	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.3)（表3.2.1） ・建設汚泥から再生した処理土　G
	② 建設発生土の処理	※現場説明書による　(3.2.5) ⊙構外搬出適切処理　⊙構内指示の場所にたい積　⊙構内指示の場所に敷き均し
④ 地業工事	1　既製コンクリート杭地業	種類　(4.3.1～2) ※高強度プレストレストコンクリート杭 杭径（mm）／杭長（m）及び種別／継手数／セット数／備考 試験杭／／／／／ 本　杭／／／／／ 杭頭の処理　※切断しない　・　(4.3.8) 先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形 杭の継手　建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。　(4.3.6) 施工法　(4.3.4～5) ・特定埋込み杭工法 工法　・プレボーリング拡大根固め工法　・中掘拡大根固め工法 H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法 杭周固定液　・使用する セメントの種類　6章コンクリート工事のセメントの種類による
	2　場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別及び設計基準強度　(4.5.4)（表4.5.1） （　　）種かつ（　　）N/mm² 以上 鉄筋の種類　5章鉄筋工事の鉄筋の種類による　(4.5.4) 堀削工法　・アースドリル工法（・安定液使用　・無水堀削）　(4.5.5) ・リバース工法 ・オールケーシング工法（孔内の水張　・行う　・行わない） ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　(4.5.6) ・拡底杭工法（※安定液使用　・　　） 側壁測定　・行う（　　）　・行わない　(4.5.4) セメントの種類　6章コンクリート工事のセメントの種類による
	③ 砂利地業	※再生クラッシャラン G　・切込み砂利及び切込み砕石　(4.6.3)
	④ 床下防湿層	施工箇所　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　(4.6.5)
⑤ 鉄筋工事	① 鉄筋の種類	(5.2.1)（表5.2.1） 種類の記号／呼び名（mm） ⊙SD295A／※D16以下　・ ・SD345／※D19以上　・
	② 鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　⊙重ね継手　(5.3.4)
	③ 鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する。　(5.3.5) ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 施工箇所／標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm） ・柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面／※10　・
	4　既製コンクリート杭の杭頭補強	・Ａ形　・Ｂ形　※図示
	5　最上階柱頭補強	※行う　・行わない　(別2.1)
	6　帯筋	※Ｈ形（口は除く）　(別2.2)
	7　壁開口部の補強	一般壁　・Ａ形　※Ｂ形　・図示　(別4.4)（別表4.3～4） 耐震壁　※図示
	8　梁貫通孔の補強形式	※Ｈ形　・ＭＨ形　・Ｍ形　(別7.1)（別表7.1～3）
	9　機械吊上げ用フック	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種（　　ヶ所）
	10　圧接完了後の試験	※超音波探傷試験　・引張試験　(5.6.10)
⑥ コンクリート工事	① 普通コンクリートの設計基準強度	(6.2.2) 設計基準強度Ｆｃ（N/mm²）／施工箇所 ⊙ 21 ＋ 3／基礎・土間コン ⊙ 18／捨てコン ・ 27
	② レディーミクストコンクリートの類別	※Ⅰ類　・Ⅱ類　(6.2.1)（6.4.1～2）（表6.2.1）
	③ スランプ	18cm　(6.2.4)
	④ セメントの種類	(6.3.1)（6.13.2）（表6.3.1） ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種 ・高炉セメントＢ種 G（・　　）
	⑤ 骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分　(6.3.1) ※Ａ ・Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量Ｒt=3.0kg/m³以下）
	⑥ 混和材料	混和材　仕様箇所　屋外タタキ部分を除く全体：コンクリート躯体防水剤 躯体軸部：高性能AE減水材
	7　無筋コンクリート	設計基準強度　※18N/mm²　(6.14.1)
	8　コンクリート躯体表面の処理	外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm²以上かつ、2.5分/m²以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの増打ち厚さ　※20mm ※施工範囲は図示による。
	9　断熱材兼用型枠	適用及び適用個所について 標仕19章内装工事9断熱材による。

承　認	設　計	担　当	

縮　尺　NO SCALE

設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事

図面名称　特記仕様書 -01

No.　A- 01

7 鉄骨工事

1 鉄骨の製作工場　(7.1.3)

製作工場の加工能力
：監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（　　）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所　・図示　　・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示　　・

2 施工管理技術者　適用する　(7.1.4)

3 鋼材　(7.2.1)（7.2.10）（表7.2.1）

種類の記号	使用箇所	規格等
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による

4 スカラップ　改良型スカラップ

5 エンドタブ　鋼製エンドタブ
切断する箇所（　　）

6 高力ボルト　※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト　(7.2.2)（7.12.4）

7 溶接部の試験　A00L　※4.0%　・2.5%　(7.6.12)
検査水準　※第6水準　・図示　(7.6.12)（表7.6.2）

試験の種別	試験箇所	試験方法
※超音波探傷試験	完全溶込み溶接部	※標仕7.6.11（b）による ・図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

8 耐火被覆　(7.9.2~7)

種　別		所要性能及び適用構造部位
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
・耐火板張り		

9 アンカーボルトの保持及び埋込み工法
・構造用アンカーボルト　（※図示　　・　　）
・建方用アンカーボルト　（・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種）　(7.10.3)（表7.10.1）

10 柱底均しモルタル工法　※Ａ種　・Ｂ種　(7.2.9)（7.10.3）（表7.10.2）

無収縮モルタル

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各重量比） （セメント：混和材）：砂＝1：1

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー	Ｊロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は　8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率　：　2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間　1時間以上 終結時間　10時間以内
無収縮性	材齢7日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日　25.0N/mm²以上 材齢28日　45.0N/mm²以上
付着強度	材齢28日　3.0N/mm²以上
塩化物量	0.30kg/m³以下
試験方法	1）日本道路公団規格（ＪＨＳ）「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1992による。 2）塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書5（規定）「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

11 溶融亜鉛めっき工法　(7.12.4)（表14.2.2）

亜鉛めっきの種別	材　料	適用部位
A種	最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
B種	最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

素地ごしらえは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造　※空洞ブロック16　・空洞ブロック16－Ｗ　(8.2.2)

2 コンクリートブロック帳壁及び塀　※標仕表8.3.1及び下表による　(8.3.2)

適用箇所		厚さ（mm）
・間仕切壁　・地下二重壁　・外壁		・
・塀	高さ　２ｍ以下	・120
	高さ　２ｍを超える	・150
・衛生配管用裏積みブロック		・100 ・

3 ＡＬＣパネル　(8.4.2~5)（表8.4.2~4）

種　類	単位荷重（N/m²）	厚さ（mm）	取付け工法種別
・外壁パネル	・1180　・1960	※100　・	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
・間仕切壁パネル		※100　・	・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種
・屋根パネル	・980	※100　・	※標仕8.4.6による
・床パネル	・2350　・3530	・100　・150	

・床パネルの耐火性能（・1時間　・2時間）

4 押出成形セメント板（ECP）　(8.5.2~4)（表8.5.1~2）

種　類	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法種別
・外壁パネル	※Ｆ　・Ｆ－Ｒ			・Ａ種 ・Ｂ種
	・Ｄ　・Ｄ－Ｒ			
	・Ｔ　・Ｔ－Ｒ			
・間仕切パネル	※Ｆ　・Ｆ－Ｒ			・Ｂ種 ・Ｃ種
	・Ｄ　・Ｄ－Ｒ			
	・Ｔ　・Ｔ－Ｒ			

耐火性能　・有り（　　）
・無し

9 防水工事

1 アスファルト防水　(9.2.2~3)（表9.2.3~9）

種　別	施工箇所
・Ａ－１　・Ａ－２　・Ａ－３	
・ＡＩ－１　・ＡＩ－２　・ＡＩ－３	
・Ｂ－１　・Ｂ－２　・Ｂ－３	
・ＢＩＩ－１　・ＢＩ－２　・ＢＩ－３	
・Ｄ－１　・Ｄ－２　・Ｄ－３　・Ｄ－４	
・ＤＩ－１　・ＤＩ－２	
・Ｅ－１　・Ｅ－２	

アスファルト　※３種　・４種　(9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※25　・
ただし、特定フロンを含まないもの。

立上り部の保護
・乾式保護材　※押出成形セメント板（厚さ　15mm）　(9.2.5)

2 改質アスファルトシート防水　(9.3.2~3)（表9.3.1~3）

種　別	厚　さ	施工箇所
・ AS－T1　・ AS－T2		
・ AS－T3　・ AS－T4　・ AS－J1		
・ ASＩ－T1　・ ASＩ－J1		

3 合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.2~3)（表9.4.1~3）

種　別	厚さ（mm）	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・1.5		・シルバー ・カラー	※非歩行 ・軽歩行
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・1.5	屋上		
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・			
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・			
・Ｓ－Ｍ３	※1.2　・			
・ＳＩ－Ｆ１	※1.2　・1.5		・シルバー ・カラー	※非歩行 ・軽歩行
・ＳＩ－Ｆ２	※2.0　・1.5			
・ＳＩ－Ｍ１	※1.5　・			
・ＳＩ－Ｍ２	※1.5　・			
・Ｓ－Ｃ１	※　・			

4 塗膜防水　(9.5.2~3)（表9.5.1~2）

種　別	施工個所	備　考
・Ｘ－１		仕上げ塗料塗り ・シルバー ・カラー
・Ｘ－２		
・Ｙ－１		Ｙ－２工法の保護シート
・Ｙ－２		※適用する　・適用しない

脱気装置
・設ける　材質（　　）　設置数量（　　m²当たり１箇所）

5 ケイ酸質系塗布防水　(9.6.2)（表9.6.1）

種　別	施工個所	備　考
・Ｃ－ＵＩ		
・Ｃ－ＵＰ		

6 シーリング　下表以外は、標仕表9.7.1による　(9.7.2)（表9.7.1）

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

10 石工事

1 天然石張り　石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)（表10.2.1~2）

施工箇所	種　類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類

2 テラゾ張り　種石の種類　※大理石　・
表面仕上げ　※本磨き
形状・寸法　※図示

3 壁の石張り工法　外壁石張り　(10.3.2~3)（10.5.2~3）
工法
・外壁湿式工法（※流し筋工法　・　　）
・乾式工法
石裏面処理　・行う（・小口共）
裏打ち処理　・行う
ドレインパイプ　※ステンレスSUS304　・

内壁石張り　(10.4.2~3)（10.5.2~3）
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法

4 床及び階段の石張り　床石張りの裏面処理　・行う　(10.6.2~3)
屋内のワックス掛け　・行う　(10.1.5)

11 タイル工事

1 陶磁器質タイル　タイルの種類　(11.2.1)

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ：磁器	きじ：せっ器	きじ：陶器	うわぐすり：施ゆう	うわぐすり：無ゆう	役物：あり	役物：なし	色：標準	色：特注	再生材の適用Ⓖ	備考
屋外階段	200×100											段鼻

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　　）

2 張り付け用材料　既製調合モルタル（仕上げ表の仕様により合成樹脂を添加する）

保水率（%）	単位容積質量（kg/l）	接着強さ（N/mm²）標準時	接着強さ（N/mm²）温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/mm²）
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(11.2.3)

3 壁タイル張りの工法　内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・積上げ張り　(11.3.3)（表11.3.2）

外装タイル　※密着張り　・マスク張り
躯体表面の処理　・行わない　※行う（施工範囲　※図示　・　　）
躯体表面の処理方法　ＭＣＲ工法又は目荒し工法（６章コンクリート工事）
下地モルタル塗り　※標仕15.2.2~15.2.5（仕上げ表の仕様により合成樹脂を添加する）
タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　　）　(11.2.1)

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法　(11.2.2)（11.4.2）（表11.4.1）

種　別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※タイルシート法	・小口タイル	※標仕6.9.3［材料］（b）（2）又は金属製タイル先付け用パネル
・目地桝工法	・二丁掛タイル	
・桟木法	大型タイル	

12 木工事

1 木材の品質　※標仕12.2.1　・市販品　(12.2.1)
・保存処理木材を適用する箇所（　　）

2 樹種　・特記による（　　）(12.2.1)
・代用樹種を適用しない箇所（　　）
・県産材指定箇所（　　）

3 集成材等Ⓖ　(12.2.1)

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・１種　※２種　・３種	・	
・造作用集成材	※１等　・２等	・	
・化粧ばり造作用集成材	※１等　・２等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

4 接着剤　接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　(12.2.2)
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

5 防腐・防蟻処理　行う箇所（　建物外周部 GL+1000 まで　）
防腐処理　※行う（※図示　・　）(12.3.1)
防蟻処理　・行う（※図示　・　）(12.3.2)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

6 床板張り　フローリング及び縁甲板張り床　(12.6.1)（表12.6.1）

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種
		・板張り	
床板	※単層フローリング（標仕19.5.2による）		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種
	・縁甲板		※ひのき　・

13 屋根及びひさし工事

1 長尺金属板葺　(13.2.2~3)（表13.2.1）

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
・タテハゼ葺き	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150）	※0.4

2 折板葺　(13.3.2~3)（表13.2.1）

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　　）　山ピッチ（　　）　板厚※0.6　・0.8
材　料（規格等）	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150）
軒先面戸板	※有り　・無し
断 熱 材	※有り（種別：　　厚さ：　mm）　・無し
耐火性能	※30分耐火　・無し

3 とい　材　種　※配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管　(13.5.2)（表13.5.1）
・ステンレスJIS G4305　Ⓖ
・既存使用

鋼管製といの防露　※標仕表13.5.5による　(13.5.3)（表13.5.5）
防露材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種
掃　除　口　※有り　・無し

14 金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ　(14.2.1)

種　類	施工箇所
※ＨＬ程度	下記以外の見え掛かり全て
・No.２Ｂ程度	
・鏡面仕上げ	

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.2)（表14.2.1）

種　別	施工箇所
・Ｂ－１種（無着色）	
・Ｂ－２種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）	

3 鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.3)（表14.2.2）

表面処理方法	種　別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
	・Ｄ種	
電気亜鉛めっき	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

4 金属成形板張り　(14.6.2)（表14.2.1）

形　状	製　法	材　種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※アルミニウム製			・Ｂ－１種 ・Ｂ－２種（　　）
・パネル形	※プレス				

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）

5 アルミニウム製笠木　(14.7.2)（表14.2.1）（表14.7.1）

種　類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定能	備　考
・250形	1.6以上	※Ａ－１又は Ｂ－１種 ・Ｂ－２種 （　　）	固定方法及び開隅は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	1.8以上			
・550形	2.0以上			
・100形				

6 手すり及びタラップ　(14.2.1)（14.8.2~3）（表14.2.2）

種　類	材料の種別	表面処理
手すり	※ステンレスSUS304	※ＨＬ程度　・鏡面程度　・
	・既製品	亜鉛めっき　外部　※Ｃ種　・ 内部　※Ｅ種　・
	※ステンレスSUS304	※研磨無し　・
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種 ・

15 左官工事

1 モルタル塗り材料　吸水調整材　(15.3.2)（表15.3.2）

全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±1.0	30分で1g以下	1.00以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）　(15.3.2)
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。

2 床コンクリートの直均し仕上げ　下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による　(表6.2.5)（15.4.1~2）

施工箇所	平たんさ（mm）	備　考
	1mにつき10以下	
	3mにつき7以下	

3 仕上塗材仕上げ　(15.6.2)（表15.6.1）

種　類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	
	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ	・砂壁状じゅらく　・ゆず肌状
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状　・さざ波状　・凹凸状
	・外装薄塗材Ｓ	砂壁状
	・内装薄塗材Ｃ	
	・内装薄塗材Ｌ	
	・内装薄塗材Ｓｉ	
	・内装薄塗材Ｗ	京壁状じゅらく
・厚層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理　※凹凸模様
	・可とう形複層塗材ＣＥ	耐候性　※3種　・
	・複層塗材Ｓｉ	上塗材
	・複層塗材Ｅ	溶媒　※水系　・溶剤系
	※複層塗材ＲＥ	樹脂　※アクリル系 ・
	・複層塗材ＲＳ	
	・防水形複層塗材ＣＥ	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材Ｅ	・メタリック
	・防水形複層塗材ＲＥ	
	・防水形複層塗材ＲＳ	防水形の増塗材　※行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種
防火材料の指定
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

承　認	設　計	担　当	

縮　尺　NO SCALE
設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事
図面名称　特記仕様書 -02
No.　A- 02

⑯ 建具工事

1 見本の製作等

・特殊な建具の仮組（建具符号：　　）　(16.1.4)

② アルミニウム製建具

外部に面する建具　(16.2.2)（16.2.4）（表16.2.1）

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
⊙A種	S－4	S－4	※A－3	※W－4	※70	※図示　・
・B種	S－5					※図示　・
・C種	S－6	A－4	W－5	特記による	※図示　・

断熱等級・
枠・障子：
ガラス：
表面処理　※B－1種　⊙B－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）　(表14.2.1)

屋内建具
表面処理　※C－1種又はB－1種　(表14.2.1)
・C－2種又はB－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

◯ 網戸

防虫網　(16.2.3)
網の種別　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形　式　※外部可動式　・固定式

3 樹脂製建具

建具の性能及び構造の適用は建具表による　(16.3.2)
製造所標準仕様による　(表16.3.3)

4 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は特記による　(16.4.2)（表16.4.1）
耐風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸　・適用あり

5 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　(16.5.2)

6 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
耐風圧性の適用は建具表による
表面仕上げ　※ＨＬ程度　・鏡面仕上げ　・　(16.6.4)
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり）　(16.6.5)
特定防火設備の戸　・適用あり　(表16.6.1)

⑦ 木製建具

かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　）　(16.7.2)

ふすまの上張り　(表16.7.3～10)
※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　(16.7.2)
※規制対象外　・第三種

⑧ 建具用金物

マスターキー　※製作する　・製作しない　(16.8.4)
建具用金物　(16.4.6)（16.5.6）
錠類はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする　(表16.8.1～5)
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける　(16.8.2)

吊金物
・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）
・ピボットヒンジ
・フロアヒンジ

9 自動ドア開閉装置

(16.9.2～3)（表16.9.1～3）

開閉方法	センサの種類	
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ※光線スイッチ ・熱線スイッチ	・電子マットスイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

10 自閉式上吊り引戸装置

品質規格　※標仕表16.10.1による　(16.10.2～3)
・製造所標準仕様による

(16.11.2)

11 重量シャッター

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　　）N/m²
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　　）N/m²
⊙屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　(16.11.2)（表16.11.1）

危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型）
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　(16.11.2)

⑫ 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　(16.12.2)（表16.12.1）
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・鋼板　(16.12.3)
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　(16.12.4)
ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）　(表16.12.2)
耐風圧性能　（　　）N/m²

13 オーバーヘッドドア

(16.13.2～3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 （SUS304）

耐風圧性能　（　　）N/m²

⑭ ガラス

※建具表による　(16.14.2)
・ガラスブロック　標仕16.14.5による　(16.14.5)

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	防火性能
・正方形 ・長方形			※クリア	※無し ・有り

◯ ガラス留め材及び溝

ガラス留め材　(16.14.2)（表9.7.1）

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　⊙ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　(16.14.3)
標仕16.14.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会JASS 17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」による値か、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する

名　称	種　類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D１

品質　JIS A 5759による

17 カーテンウォール工事

2 メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
カーテンウォール材料の種類　(17.2.2)

種　類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリオン方式　（・単純２辺支持構法　・ＳＳＧ構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式　（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は標仕表9.7.1による　(9.7.2)（17.2.2）（表9.7.1）

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記　号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット　※適用しない　(17.2.2)
・適用する（施工箇所：図示　）
断熱材　※適用しない　(17.2.2)
・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所※図示　）
製品の寸法許容差　※標仕表17.2.1による　(17.2.3)（表17.2.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による
・取付け　(17.2.5)（表17.2.2～3）

アルミニウムの表面処理　(17.2.3)（表14.2.1）

種　別	色彩等
・A－1種　・B－1種	無着色
・A－2種　・B－2種	※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜	塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m² 以上及び負圧　N/m² 以上に対して安全であること。

主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状　態
※4m以下	※±（1/150）×h かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形 有害な変形が起こらないこと
・4mを超える		

耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向（Kₕ）　※1.0　・
垂直方向（Kᵥ）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないシーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	

水密性　・W－4　・W－5　・　(17.1.3)
気密性　・A－3　・A－4　・　(17.1.3)
耐火性能　※適用しない　・適用する（　　時間、施工箇所：図示）
映像調整　※行わない　・行う（建具表による）
製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける
設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。
コンクリートの種類及び品質　(17.3.2)
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Ｆｃ）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A　・
取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質　(14.2.3)（表14.2.2）

金物種類及び部位	内　部	外　部
ＰＣ版打込み金物	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
ＰＣ版打込み取付けボルト	※Ｅ種　・	※ステンレスボルト
２次ファスナー	※Ａ種　・	※Ａ種　・
取付けボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
レベル調整ボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料
下記以外は標仕表9.7.1による　(9.7.2)（17.3.2）（表9.7.1）

施工箇所	シーリング材の種別		
	記　号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材　※適用しない
・適用する　（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所　※図示）
製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による　(17.3.3)（表17.3.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ　（　　）

耐火材料

施工部位	種　別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m² 以上及び負圧　N/m² 以上に対して安全であること。

耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向（Kₕ）　※1.0　・
垂直方向（Kᵥ）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。 ガラス等の破損もない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	

⑱ 塗装工事

① 材　料
② 素地ごしらえ

屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。　(18.1.3)
各部の素地ごしらえ　(18.2.1～7)（表18.2.1～7）

木　部	※A種（不透明塗料塗）※B種（透明塗料塗）		
鉄鋼面	・A種　・B種　※C種		
亜鉛めっき鋼面	・A種　・B種	塗り工法に応じた節の規定	
モルタル・プラスター面	・A種　※B種		
コンクリート・ＡＬＣパネル面	・A種　※B種		
コンクリート・押出成形セメント板面	・A種　・B種	塗り工法に応じた節の規定	
ボード面	※A種（継目処理工法）※B種（その他）		

3 錆止め塗料塗り

塗料の種別　(18.3.1～2)

鉄鋼面	※A種　※B種（標準仕様書8節の場合）
亜鉛めっき鋼面	※A種　・B種（標準仕様書8節の場合）

(18.3.3)
錆止め塗料塗り

鉄鋼面	※A種（見え掛り）　※B種（見え隠れ）
亜鉛めっき鋼面	※A種（鋼製建具等）・B種

4 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）

合成樹脂調合ペイント塗り　木部　鉄鋼面　亜鉛めっき鋼板　(18.4.2)
塗料の種別　※1種　・2種　(表18.4.1～3)
合成樹脂調合ペイント塗り
鉄鋼面　・A種　※B種
木部　※A種（屋外）　※B種（屋内）

5 クリアラック一塗り（ＣＬ）

木部のクリアラック一塗り　・A種　※B種　(18.5.1)（表18.5.1）

6 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り　（屋内）
コンクリート・モルタル面　・A種　※B種　(18.6.1)（表18.6.2）

7 耐候性塗料塗り（ＤＰ）

耐候性塗料塗り　（屋外）　(18.7.2～3)（表18.7.1～3）
上塗りの等級　～特記による
鉄鋼面　工程<下塗り→研磨→中塗り→上塗り>は表１８．７．２による
亜鉛めっき鋼面　工程<下塗り→研磨→中塗り→上塗り>は表１８．７．３による
コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別　(18.7.4)（表18.7.3）
・A種　・B種　・C種　種別は表１８．７．３の特記による

8 つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）

つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り　(18.8.1～4)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種　※B種
木部（屋内）（多孔質広葉樹を除く）→仕様工程等は、表１８．８．２による
鉄鋼面（屋内）　・A種　※B種

9 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）

合成樹脂エマルションペイント塗り
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面　(18.9.2)
・A種　※B種

10 合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）

合成樹脂エマルション模様塗料塗り　（屋内）　(18.10.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種　※B種

11 ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）

木部のウレタン樹脂ワニス塗り　・A種　※B種　(18.11.2)

12 ラッカーエナメル塗り（ＬＥ）

ラッカーエナメル塗り　・A種　※B種　(18.12.2)

13 オイルステイン塗り（ＯＳ）

オイルステイン塗り　(18.13.2)
仕様工程は、表18.13.1による
素地ごしらえ→１回目塗り→ふき取り→２回目塗り→ふき取り

⑭ 木材保護塗料塗り（ＷＰ）

木材保護塗料塗り　・A種　※B種　(18.13.1)

⑲ 内装工事

2 ビニル床シート張り　ビニル床タイル　及びゴム床タイル張り

・ビニル床シート　JIS A5705のJIS表示認証製品　(19.2.1～4)（表19.2.1～2）

種　類	記号	色　柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※　発泡層のないもの	・ＦＳ ・ＴＳ	・無地 ・マーブル	※　2.0 ・　2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け
・　発泡層のあるもの	・ＨＳ ・ＫＳ				

・化粧ビニル床シート　JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色　柄	厚さ(mm)	特殊機能	工　法
ＦＳ	・　木目調 ・　石目調	※　2.0 ・　2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

・ビニル床タイル　JIS A5705のJIS表示認証製品

種　類	記号	寸法	厚さ(mm)	特殊機能
※　コンポジションビニル床タイル	※ＫＴ	※300×300	・　2.0	・帯電防止 ・耐動荷重
・　ホモジニアスビニル床タイル	・ＦＴ	・300×300 ・450×450	・　2.0	・帯電防止 ・耐動荷重

・特殊機能床材　帯電防止
・　帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2～3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023）3kV以下
・　帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）0.1×1010オーム未満
・　帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上
又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）0.1×10⁷オーム未満
耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験（発泡層のあるビニルシートのみ）およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

・視覚障害者用床タイル

材　質	寸　法（mm）
・　塩化ビニル系・　せっ器質タイル系	３００×３００

・ビニル幅木　材　種　※　軟質　・　硬質　・　溶接
高　さ（mm）　※　６０　・　７５　・　１００
厚　さ（mm）　※　１．５　・　２．０
・接着剤　ＪＩＳ　Ａ　5536（床仕上げ材接着剤）により、
種別は表19.2.1による施工箇所に応じたものとする。
ホルムアルデヒト放散量は特記による。特記がなければＦ☆☆☆とする。

3 カーペット敷き

・織じゅうたん　(19.3.1～4)（表19.3.1）

種　別	パイル形状	色柄等	備　考
・A種 ・B種 ・C種	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループパイル併用	※無地 ・柄物（標準品）	

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タフテッドカーペット　(19.3.3～4)（表19.3.2）

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	備　考
・カットパイル ・ループパイル ・レベルループパイル ・カット、ループ併用	※5～7　・ ※4～6　・ ※4　・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	下敷き材を敷く。

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タイルカーペット　(表19.3.2)

パイル形状	種　類	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備　考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500	※6.5	粘着はく離形接着剤を使用する。
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

耐電性　・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）

4 合成樹脂塗床

(19.4.1～4)（表19.4.1～8）

種　別	仕上げの種類	
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ	
・エポキシ樹脂塗床材	・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（・平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（・平滑　・防滑） ・防滑仕上げ	特記による

5 フローリング張り

・単層フローリング　(19.5.1～7)（表19.5.1～6）

種　別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・　フローリングボード	※ナラ	※１５　幅　７５ 長さ900以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・　フローリングブロック	※ナラ	※１５　303×303	・ ・接着工法	
・　モザイクパーケット	※ナラ	・６　・８　・９	・接着工法	

・複層フローリング

種　別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
・　複合１種フローリング ・　複合２種フローリング ・　複合３種フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	・行う ・行わない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のまま ワックス ・既塗装品
・　大型積層フローリング	・ナラ ・サクラ		・行う ・行わない	・特殊張り工法 （体育館床）	

6 畳敷き

畳の種別　・　Ａ種　・　Ｂ種　(19.6.2)（表19.6.1）
・　Ｃ種　・　Ｄ種（　　）

⑦ せっこうボードその他ボード及び合板張り

(19.7.2～3)（表19.7.1～5）

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	ＨＷ　Ⓖ	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	ＮＷ　Ⓖ	・15　・20　・25　・
⊙けい酸カルシウム板	0.8ＦＫ	タイプ2（無石綿）（Ⓖ6　・8　・　）
・ロックウール化粧吸音板	ＤＲ	※フラットタイプ（※9（不燃）・12　・　） ・凹凸タイプ（※12（不燃）・15・19・　）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	ＤＲ ＤＲ（凹凸） ＤＲ（軒天） ＤＲ（軒天凹凸）	※フラットタイプ 9（不燃） ・凹凸タイプ（※12・15）（不燃）
⊙せっこうボード	ＧＢ－Ｒ	※12.5（不燃）　・9.5（準不燃）
・不燃積層せっこうボード	ＧＢ－ＮＣ	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	ＧＢ－Ｓ	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	ＧＢ－Ｆ	12.5（不燃）　15.0（不燃）
・せっこうラスボード	ＧＢ－Ｌ	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	ＧＢ－Ｄ	9.5（不燃）幅440mm程度 模様（※柾目　・板目）　専用下地材付き
・難燃合板	Ⓖ	・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ1.2	
・ミディアムデンシティファイバーボード	ＭＤＦ　Ⓖ	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード	Ⓖ	・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボード（素地）	ＨＢ　Ⓖ	・無研磨板（・スタンダード　・テンパード） ・研磨板　（・スタンダード　・テンパード）
・インシュレーションボード	ＩＢ　Ⓖ	Ａ級（・天井仕上　・内装仕上　・　） ・9　・12　・15　・18　・

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※適用する　・適用しない
吸音材　(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード1号	ＲＷ－Ｂ	※ 25
※グラスウール吸音ボード32K	ＧＷ－Ｂ	※ 25

8 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備　考
	紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質		
						・不燃・準不燃・難燃	
						・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ　(表18.2.4～5)（表18.2.7）
モルタル、プラスター面　※B種　・A種（施工箇所：　　）
せっこうボード面　※B種　・A種（施工箇所：　　）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　(19.8.2)

⑨ 断熱・防露

(19.9.2～3)

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
⊙押出法ポリスチレンフォーム保温板	※２種ｂ	※一般部	・25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※３種ｂ（スキン層付）	・接地部分	・25 ・	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性　・３級　・２級
		・一般部	・15 ・40	
		製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する		
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲）	※40以下	断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.676以上 （m²・k/w）
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

承　認	設　計	担　当		縮　尺 NO SCALE	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事
				設計年月日	図面名称	特記仕様書 -03

No. A- 03

⑳ ユニット及びその他の工事

1　フリーアクセスフロア　(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備　考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0Ｇ ・0.6Ｇ	・3,000Ｎ ・5,000Ｎ	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0Ｇ ・0.6Ｇ	・3,000Ｎ ・5,000Ｎ	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0Ｇ ・0.6Ｇ	・3,000Ｎ ・5,000Ｎ	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Ｎについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
　コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル１枚につき40mm×80mm程度の開口１ヶ所以上
　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
　※20～30%　・
空調用吹き出しパネル　※無し
　・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

2　可動間仕切　(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・６０	※鋼板 （※0.6　・0.8）	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	・あり （　） ・なし	・あり ・なし

3　移動間仕切　(20.2.4)

遮音性能	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ （36db以上）		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

④　トイレブース　(20.2.5)

表面仕上げ材
　※メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）
　・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状　※幅木型　・足金物型

5　階段滑止め　(20.2.6)

材　種　ステンレスSUS304
形　状　ピニルタイヤ入り
　両端フラットエンド　※有り（・ステンレス製　※ビニル製）　・無し
幅（mm）　約35
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

6　階段手すり

種　別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ （市販品　径　約45mm）	
・既成品	

7　黒板及び ホワイトボード　(20.2.8)

種　類		寸法 (mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付け		※緑　・黒 ※緑　・黒	※平面　・曲面　・スクリーン付引分
・ホワイト ボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・スクリーン付引分

8　鏡　(20.2.9)

寸法（mm）　・図示　・
厚さ（mm）　※5　・

9　表　示　(20.2.10)

衝突防止表示
　※図示（市販品　※ステンレス製　径約30mm　・　　）
　（・両面　・片面）
　・無し
表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

10　煙突用成形ライニング　(20.2.11)

・煙突用成形ライニング材
　最高使用温度　※650℃　・400℃

・キャスタブル耐火材
　工　法　※こて押さえ
　最高使用温度　※400℃

11　ブラインド　(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
※横型	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦型	・１本操作コード ・２本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

12　ロールスクリーン　(20.2.13)

防炎性能　※有り

施工箇所	装　置		備　考
	電動	手引	

13　カーテン　(20.2.14)

施工箇所	形　式		装　置			ひだの種類	性　能	備　考
	片引	引分	電動	ひも引	手引			

14　カーテンレール　(20.2.14)

材　種　※アルミニウム製　・ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

15　ブラインドボックス及びカーテンボックス

・市販品（アルミニウム製　押出し型材）
　溝幅×深さ（mm）　・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・
　色彩　※Ｂ－１　・Ｂ－２（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
・図示

16　耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目　地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※20×10　・	※20×10　・

17　止水板

形　状　・据置式　・壁張り式　・差込式
寸　法
製造所

18　天井点検口

材　質　アルミニウム製（※額縁タイプ　・目地タイプ）

⑲　床点検口

材　質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　⊙ステンレス製）

20　鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※１種　・２種　・３種

21　かご箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

22　くつふきマット

市販品
材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ビニル製（ステンレス製受枠）
　・硬質アルミニウム製（受枠とも）　・ステンレス製（受枠とも）

23　流し台ユニット

種　類	寸法（Ｌ＝　mm）			適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200	・1500	・1800	トラップ付き	※優良住宅部品
・コンロ台	※600	・700		バックガード ※有り	（セクショナルキッチンⅠ型）
・つり戸棚	※1200	・900	・600		
・水切り棚	※1200	・900		ステンレス製 ※１段式	※市販品

24　屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

25　洗面カウンター

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き（mm）　・約450　・約600

26　防煙垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備　考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ（mm）	備　考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

27　視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンはJIS T 9251による　(19.2.2)
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　　）
　・レジンコンクリート製
屋　外　※レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　　）

28　旗竿

材　質　※アルミニウム合金製
形　式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ（m）　・6　・8　・10　・12
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
製造所

29　旗竿受金物

材　種　ステンレス製SUS304

㉚　フェンス

・ビニル被覆エキスパンドフェンス
⊙樹脂塗装メッシュフェンス

31　屋外掲示板

照明器具　※有り　・無し
施　錠　※有り　・無し
製造所

32　車止め支柱

※ステンレス製（上下式鎖内蔵型）　径114.3mm　t＝2.5mm　Ｈ＝ＧＬ＋700mm
　※スプリング付　・スプリング無し

33　収納家具

材質
形状・寸法　※図示
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

34　エキスパンション・ジョイント金物

材質　・アルミ　・ステンレス
クリアランス　・50　・100　・150　・
耐火性能　・有り（　　）　・無し
防水型　※適用する　・適用しない

21 排水工事

1　排水管　(21.2.3)（表21.2.2）(21.3.1～3.2)

排水管用材料

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※１種　・２種）	Ｂ形（ゴム接合）
・硬質ポリ塩化ビニル管	※ＶＰ　・ＶＵ	
・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	・ＲＥＰ－ＶＵ Ⓖ	
・硬質ポリ塩化ビニル管	・ＤＶ	

車道部の排水管の敷設　(21.3.1～2)
　※図示
　・砂基礎（地業厚さ20cm以上　材料　山砂の類）

2　排水桝及びふた

鋳鉄製マンホールふた　(21.2.2)

種　類	適用荷重
・水封形　・密閉形（テーパー・パッキン式） ・簡易気密形（パッキン式）　・中ふた付密閉形	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用

グレーチングふた　(21.2.2)

材　質	形　式	種　類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用 ・桝ふた用 ・かさと上用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	※細目 ※普通目 ・細目	※凹凸形 ※平形 ・凹凸形

3　埋戻し土　(21.2.2～3)（表3.2.1）

※Ｂ種　・

4　浸透管及び浸透桝

製造所

22 舗装工事

1　盛り土に用いる材料　(22.2.3)（表22.2.1）

・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種

2　遮断層及び凍上抑制層の材料　(22.2.2～3)

・遮断層　※川砂、海砂又良質な山砂　・
　厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂
　厚さは図示
・フィルター層　※透水性舗装　車道部150mm・歩道部50mm

3　路床安定処理　(22.2.2～3)（表22.2.2）

※添加材料による安定処理
　種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種　・フライアッシュセメントＢ種
　　・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
　添加量　kg/m³　（目標ＣＢＲ　※5以上　・　　）

4　路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱さない土）　(22.2.5)

5　路床締固め度の試験　※行う　(22.2.5)

6　路盤材料 Ⓖ　(22.3.3)

※再生クラッシャラン（RC-40）
・クラッシャラン（C-40）又はクラッシャランスラグ（CS-40）
　透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

7　アスファルト舗装　(22.4.2)（表22.4.1）

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し　・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し　・有り	

カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）　・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト　※再生アスファルト Ⓖ　・ストレートアスファルト　(22.4.3)

加熱アスファルト混合物の種類　(22.4.4)（表22.4.4）

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　　）　(22.4.5)

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22.4.6)

8　コンクリート舗装

早強セメント　※使用しない　・使用する　(22.5.3)
注入材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ　(22.5.3)（表22.5.2～3）

溶接金網　※有り　・無し　(22.5.3～4)
厚さ試験　※行わない　・行う　(22.5.6)

9　透水性アスファルト舗装

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22.7.4)（22.7.6）

10　ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装　(22.8.2～4)

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※普通平板（Ｎ）　・カラー平板（Ｃ） ・洗出平板（Ｗ）　・磨石平板（Ｓ）	※300角	※60	※砂 ・モルタル

・インターロッキングブロック舗装　(22.8.2～4)

種　類	厚さ（mm）	色彩及び表面加工等
※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック	車道部　※80　・ 歩道部　※60　・	※標準品 誘導、注意喚起用は黄色系とする
・植生ブロック	※80　・100	

インターロッキングブロック

項　目		品　質　・　性　能
材料	セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメントト、白色ポルトランドセメントとする。
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。
	混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。

寸法許容差（mm）	長　さ	幅	厚　さ
普通タイプ	±3	±3	±3
透水性タイプ	±3	±3	+5～－1
植生用タイプ	±3	±3	±3

曲げ強度（N/mm²）	普通タイプ	5.0以上
	透水性タイプ	3.0以上
	植生用タイプ	4.0以上
透水係数（cm/sec）	透水性タイプ	1×10^{-2}以上
圧縮強度（N/mm²）	普通タイプ	32.0以上
	透水性タイプ	17.0以上

・舗石舗装　(22.8.2～4)

種　類	厚さ（mm）	施工方法	基　層
※小舗石（花こう岩）	※80～100　・	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装

11　路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅（mm）	布厚さ（mm）	揮発性有機溶剤の含有率
・１種 Ⓖ	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して 5%以下
・１種 Ⓖ	加熱					
・３種１号	溶融	粉体状				

23 植栽工事

1　樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類　(23.2.2～3)（表23.2.1～2）

適　用	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
※行う　・行わない	※20	※Ｂ種	※植栽範囲　・図示

樹木　(23.2.2～3)（表23.2.1～2）

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
・12以上	※100　・	※Ａ種	・張芝の範囲
・7超～12未満	※80　・	・Ｂ種	ただし、低木は植栽範囲
・3超～7以下	※60　・	・Ｃ種	・図示
・3以下	※50　・	・Ｄ種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画面地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

2　植込み用土　(23.2.3)

※現場発生土の良質土　・客土（※畑土　・黒土）

3　土壌改良材 Ⓖ　(23.2.3～4)

※適用する
　施工箇所　※植栽範囲　・図示

パークたい肥
　有機物の含有量（乾物）　：70%以上
　炭素窒素比（C/N比）　：35以下
　陽イオン交換容量（乾物）　：70meq/100g以上
　pH　：5.5～7.5
　水分　：55～65%
　幼植物試験の結果　：生育阻害その他の異常を認めない
　窒素全量（現物）　：0.5%以上
　りん酸全量（現物）　：0.2%以下
　加里全量（現物）　：0.1%以上

発酵下水汚泥コンポスト
　「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする
　ひ素　：0.005%以下
　カドミウム　：0.0005%以下
　水銀　：0.0002%以下
　ニッケル　：0.03%以下
　クロム　：0.05%以下
　鉛　：0.01%以下
　有機物の含有量（乾物）　：35%以上
　炭素窒素比（C/N比）　：20以下
　pH　：8.5以下
　水分　：50%以下
　窒素全量（現物）　：0.8%以上
　りん酸全量（現物）　：1.0%以上
　アルカリ分（現物）　：15%以下

4　支柱材　(23.3.2)

※杉の焼丸太（間伐材）　Ⓖ　・真竹

5　幹巻き用材料　(23.3.2)

※幹巻き用テープ　・わら及びこも

6　芝張り　(23.4.2)

種類　・こうらい芝　・野芝

7　屋上緑化　(23.5.2)

屋上緑化システム Ⓖ
・管理方法による区分　・省管理型
　質量の上限値　（　　）kg/m²
　かん水装置　・設ける（工事区分は図示）
　透水層、保水層及び排水層等
　　保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能　240ｌ/m²・ｈ以上
　耐荷重性能
　　省管理型：3×10^{4}N/m²以上の載荷重で異常のないこと。
　耐根層の材料　(23.5.3)
　合成樹脂耐根シート（厚さ3mm以上）又は抗根性剤とする（耐根性能の実績を有すること）
　植込み用土　製造所の仕様による
　植栽の種類　製造所の指定するものとする
・管理方法による区分　・管理型

承　認	設　計	担　当		縮　尺 NO SCALE	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事
				設計年月日	図面名称	特記仕様書 -04

No. A- 04

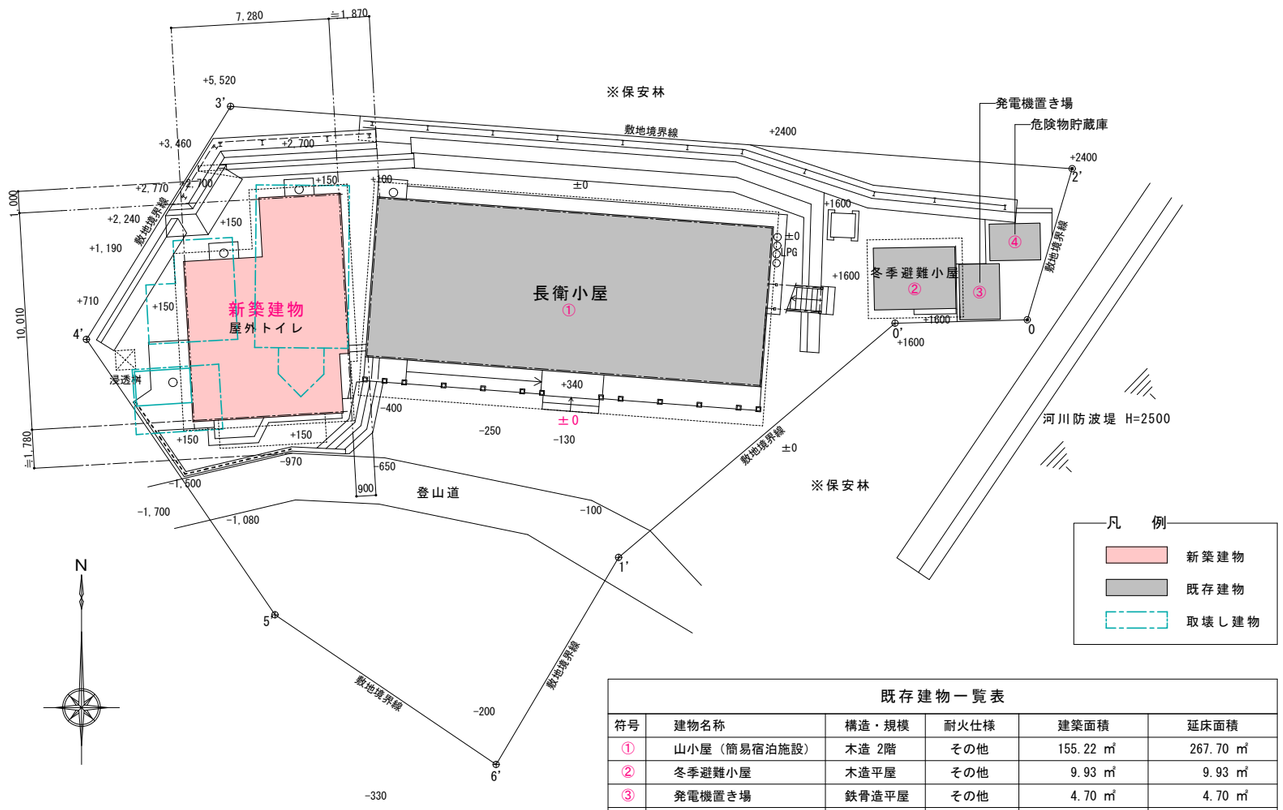
設 計 概 要

工 事 名 称	長衛小屋トイレ改修工事
建 築 場 所	山梨県南アルプス市芦安芦倉字野呂川入西方 1685の一部
地 域 ・ 地 区	都市計画区域外　用途地域・防火地域：指定なし
主 要 用 途	屋外トイレ
構 造 ・ 規 模	木造平屋建て（直接基礎） 延床面積　61.69㎡（18.66坪）　　建築面積　64.25㎡（19.44坪）
附帯設備　他	電気設備工事　　機械設備工事　　擁壁工事

特 記 仕 様 書

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（令和 4年版）による。
（2）工事関係提出書類等については「請負工事 事務処理要領書」（南アルプス市教育委員会 教育総務課）を熟読し、遺漏の無いように提出すること。
（3）本工事は、週休2日適用工事として、4週8休以上の現場閉所を見込んでいる。取扱いについては、令和7年１月1日から適用する「南アルプス市週休2日工事実施要領」による。
（4）現場は、国立公園内で、隣接する長衛小屋（宿泊施設）及び前面の河川敷にはテントを張り、甲斐駒ヶ岳等に登山する多くの登山者がいる。安全には充分な配慮を行い施工にあたること。
　　尚、現地へのアクセスについては、芦安側からは現在通行止めとなっている為、長野側からの通行となる。

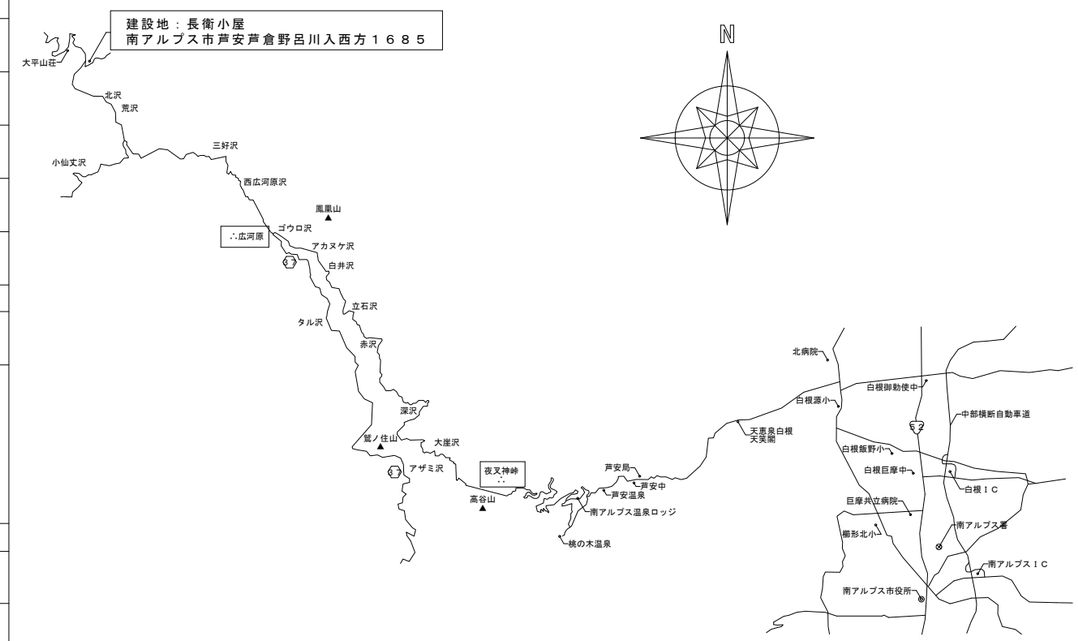
配　置　図　S=1:200



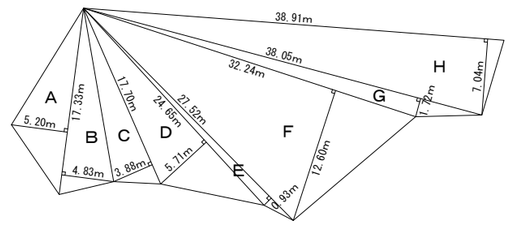
既存建物一覧表

符号	建物名称	構造・規模	耐火仕様	建築面積	延床面積
①	山小屋（簡易宿泊施設）	木造 2階	その他	155.22 ㎡	267.70 ㎡
②	冬季避難小屋	木造平屋	その他	9.93 ㎡	9.93 ㎡
③	発電機置き場	鉄骨造平屋	その他	4.70 ㎡	4.70 ㎡
④	危険物貯蔵庫	鉄骨造平屋	その他	3.90 ㎡	3.90 ㎡
計				173.75 ㎡	286.23 ㎡

付近見取り図・案内図　NO SCALE



敷地面積求積図　1/400



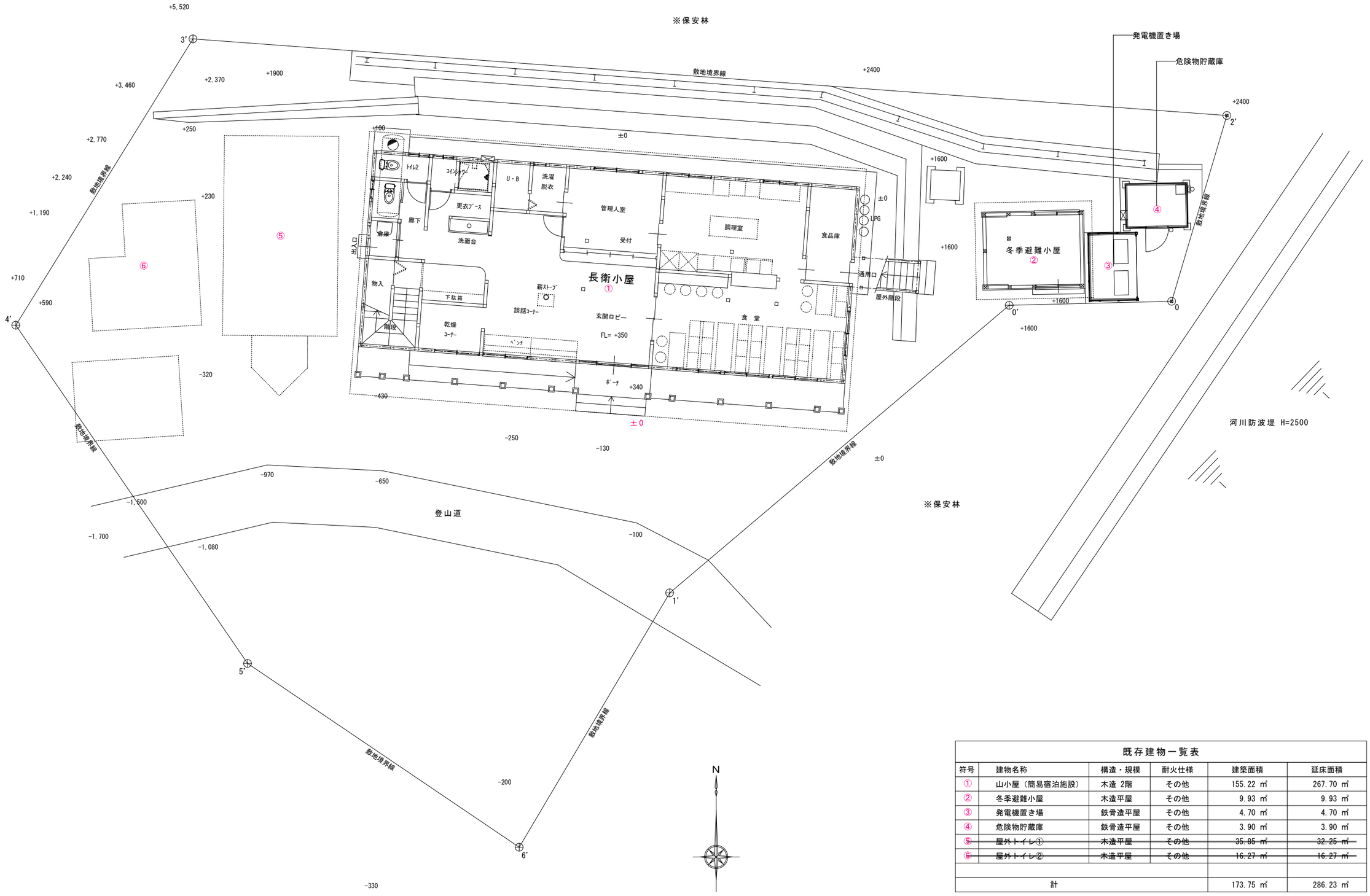
敷地面積求積表

A	:	17.33	×	5.20	＝	90.11
B	:	17.33	×	4.83	＝	83.70
C	:	17.70	×	3.88	＝	68.67
D	:	24.65	×	5.71	＝	140.75
E	:	27.52	×	0.93	＝	25.59
F	:	32.24	×	12.60	＝	406.22
G	:	38.05	×	1.72	＝	65.44
H	:	38.91	×	7.04	＝	273.92
Σ						1154.40
Σ	×	1/2				577.2

面　積　表

	新 築 建 物	既存建物 計	合　計
敷 地 面 積			577.20 ㎡
建 築 面 積	64.25 ㎡	173.75 ㎡	238.00 ㎡
延 床 面 積	61.69 ㎡	286.23 ㎡	347.92 ㎡
建　蔽　率			41.23 %
容　積　率			60.28 %

承 認	設 計	担 当		縮　尺	S=1:400 S=1:200	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事	No. A- 05
				設計年月日		図面名称	配置図・案内図・面積表	



既存建物一覧表					
符号	建物名称	構造・規模	耐火仕様	建築面積	延床面積
①	山小屋（簡易宿泊施設）	木造 2階	その他	155.22 ㎡	267.70 ㎡
②	冬季避難小屋	木造平屋	その他	9.93 ㎡	9.93 ㎡
③	発電機置き場	鉄骨造平屋	その他	4.70 ㎡	4.70 ㎡
④	危険物貯蔵庫	鉄骨造平屋	その他	3.90 ㎡	3.90 ㎡
~~⑤~~	~~屋外トイレ①~~	~~木造平屋~~	~~その他~~	~~35.85 ㎡~~	~~32.25 ㎡~~
~~⑥~~	~~屋外トイレ②~~	~~木造平屋~~	~~その他~~	~~16.27 ㎡~~	~~16.27 ㎡~~
計				173.75 ㎡	286.23 ㎡

承認	設計	担当	

縮尺 S=1:100

設計年月日

工事名称 長衛小屋トイレ改修工事

図面名称 現況図

No. A- 06

外部仕上表

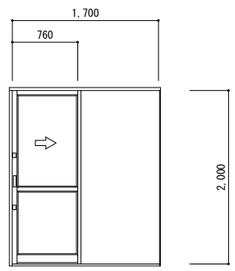
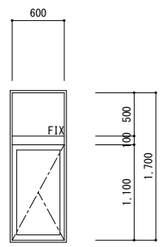
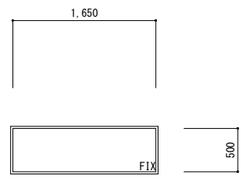
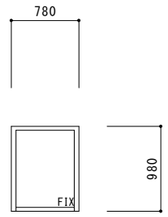
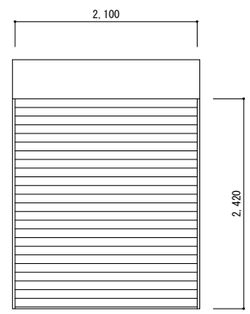
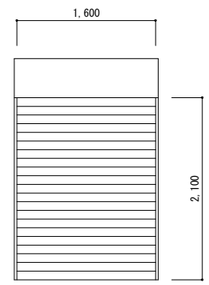
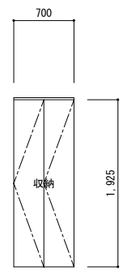
屋　　根	垂木 45×60 @455、野地板 合板 T1 t=12mm、改質ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ、ｶﾗｰGL鋼板 ﾀﾃﾊｾﾞ葺き t=0.4mm 断熱裏打ち 棟包み、軒先水切り・ｹﾗﾊﾞ水切り・雨押え：ｶﾗｰGL鋼板 t=0.6mm 加工　破風板：既成押出し成型板 VP塗り　雪止め：L-50*50*4 2段（亜鉛ﾒｯｷ）	基　　礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修仕上げ
軒　　天	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6mm （一部 有孔板）VP塗り　　ｵｰﾊﾞｰﾊﾝｸﾞ：ｱﾙﾐ製	ポ　ー　チ	床：ｺﾝｸﾘｰﾄ 金ｺﾞﾃ仕上
外　　壁	構造用合板 t=9mm 下地、窯業系羽目板調ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ t=16mm 専用金具張り(防湿透湿ｼｰﾄ + 通気胴縁 t=15mm) 小屋裏換気ｶﾞﾗﾘ：ｱﾙﾐ製　　ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ：ｱﾙﾐﾌﾟﾚｰﾄ 150×150 ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ（3ヶ所）		
建　　具	木造用ｱﾙﾐｻｯｼ、軽量手動ｼｬｯﾀｰ、ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ	そ　の　他	小屋裏・外壁断熱材：高性能GW 16K t=105mm　床下断熱材：防湿ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ + 硬質 ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ A種 T=50mm 木部防腐防蟻処理：環境対応商品とする　　ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H=900

内部仕上表

室　名	床	巾　木	壁	廻り縁	天　井	天井高 GL+630 からの高さ	備　考
前　室	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP	2,650	手洗、収納、荷物置き
共用トイレ	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP	2,650	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、荷物置き
男子トイレ	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上 小便器 汚垂石：TOTO ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗ・ﾌﾛｱ PU（厚型）貼り	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 化粧梁、化粧束、化粧方杖： WP	2,750 ～ 4,360 2,650	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、収納、床点検口
女子トイレ	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 化粧梁、化粧束、化粧方杖： WP	2,750 ～ 4,360 2,650	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、収納、床点検口
収納	合板 T1 t=12mm 張り	雑巾摺	ｼﾅ合板 t=5.5mm 張り	木製 WP	ｼﾅ合板 t=4mm 張り		棚、掃除具掛

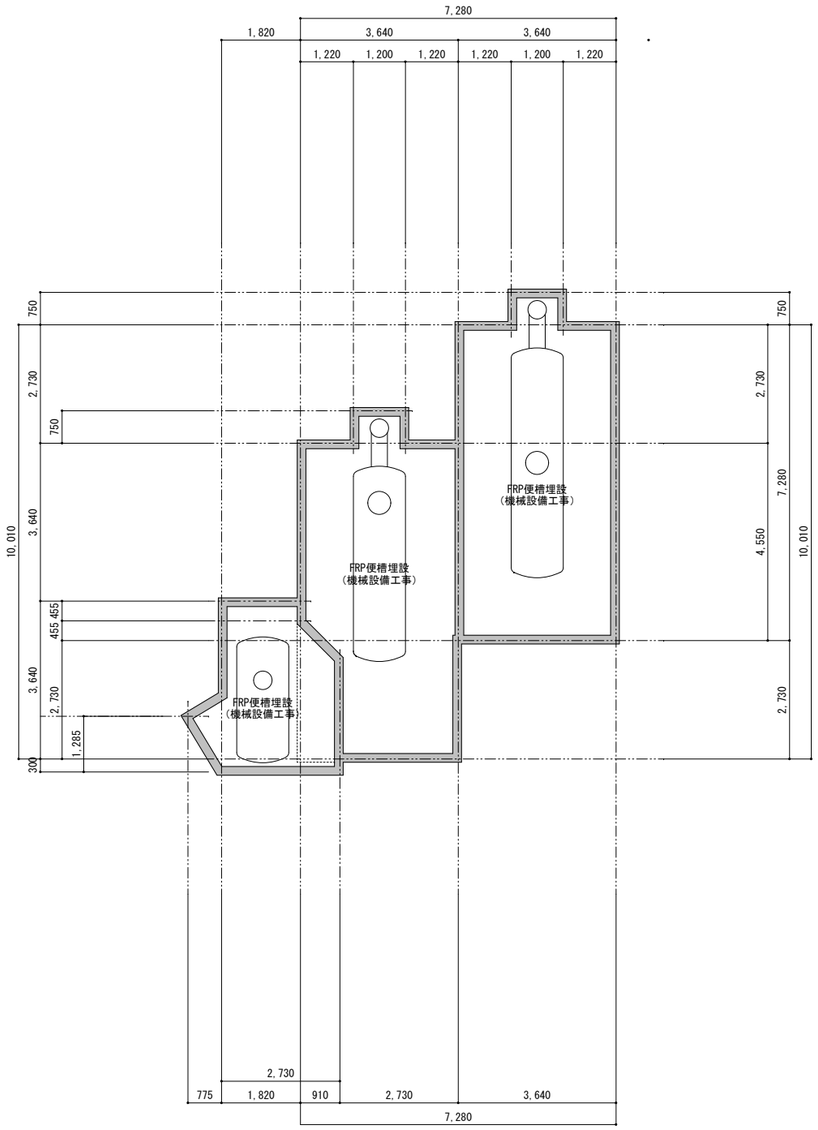
ｼｯｸﾊｳｽ関連 特記事項	※ 室内部に使用する仕上げ及び下地材料（建具、家具含む）はＦ☆☆☆☆以上の材料を使用する ※ 室内部に使用する塗料、接着材は全て（建具、家具含む）環境対応商品又はＦ☆☆☆☆商品とする ※ 小屋裏及び天井裏等に使用する材料はＦ☆☆☆以上の材料を使用する	WP：木材保護塗装 PU：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装 ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ：日本ﾍﾞﾙｯｸｽ 同等品

建具表

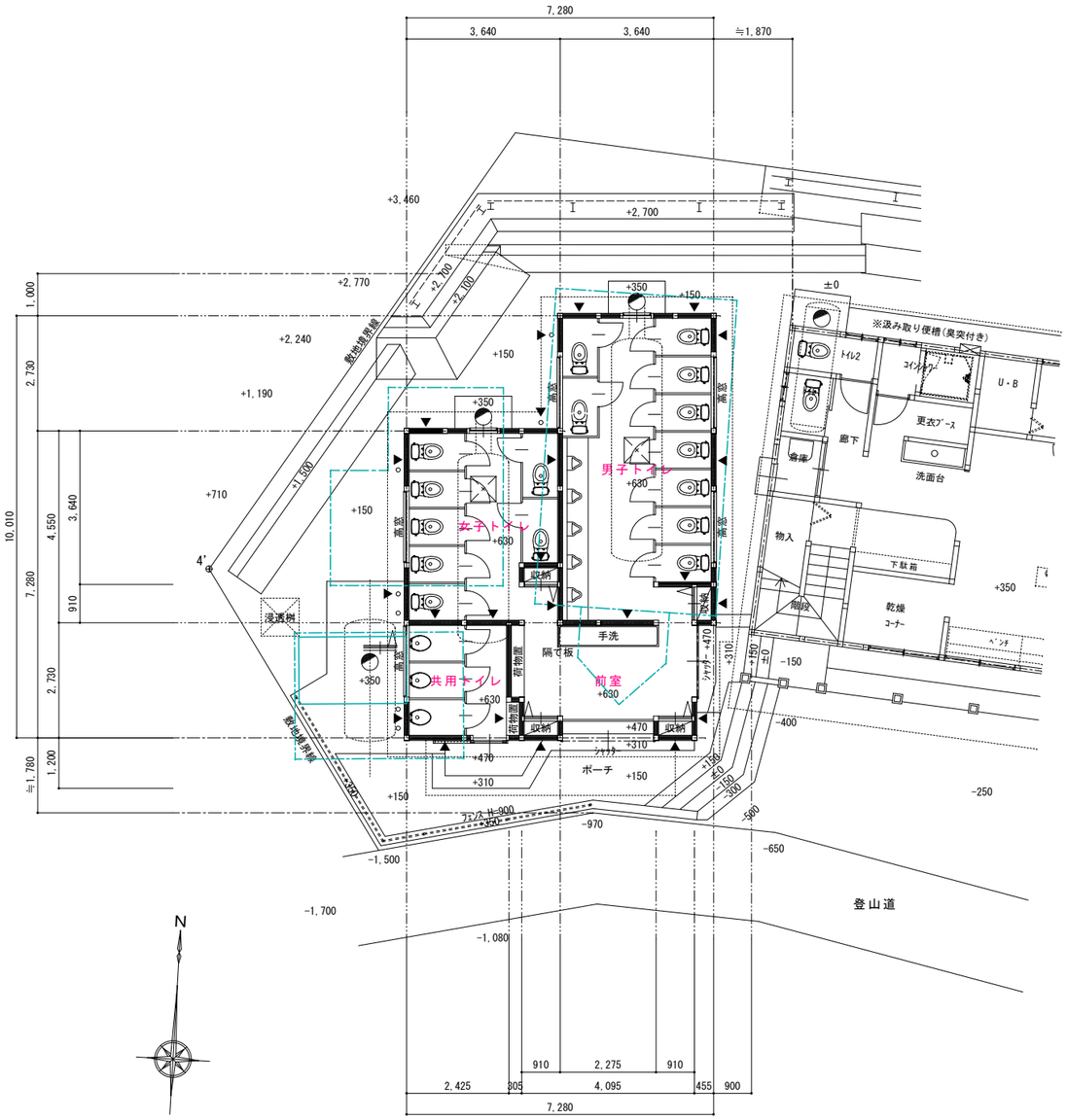
符　号	使用ヶ所	AW-1	共用トイレ	AW-2	男子・女子トイレ	AW-3	共用・男子・女子トイレ	TL-1	男子・女子トイレ	S-1	前室	S-2	前室	WD-1	前室・男子・女子トイレ
姿　図															
数　量	見　込	1	７０	2	７０	5	７０	4	―――	1	―――	1	―――	4	３６
材　料	硝　子	アルミ合金（カラー）	ＦＷ－6.8 腰：アルミパネル	アルミ合金（カラー）	ＦＷ－6.8	アルミ合金（カラー）	ＦＷ－6.8	木製（パイン材）	ＦＷ－6.8 ＋ 透明強化４㎜		―――		―――		―――
形 式 仕 上		片引きテラス戸（木造用アルミサッシ 半外）		タテ軸スベリ出し ＋ FIX 段窓（木造用アルミサッシ 半外）		FIX 窓（木造用アルミサッシ 半外）		フィックス トップライト （日本ベルックス ＦＳ-ＭＯ４ 同等品）		軽量バランスシャッター　外付 鋼製 スラット		軽量バランスシャッター　外付 鋼製 スラット		木製折戸 （メラミン樹脂化粧板、小口堅木）	
金　　物		附属金物一式、引戸錠		附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式、専用水切り、連窓用専用水切り		附属金物一式、ガイドレール、座板、ケース、錠		附属金物一式、ガイドレール、座板、ケース、錠		折戸金物、ハンドル	

承 認	設 計	担 当		縮　尺 S=1:50	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事	No. A- 07
				設計年月日	図面名称	仕上表・建具表	

ピット平面図　1/100



平　面　図　1/100



凡例・特記事項

▼　スジカイの位置　45 * 90 シングル

シックハウス関連

※ 居室内部に使用する仕上げ及び下地材料，塗料，接着材（建具，家具を含む）は全て環境対応商品又はＦ☆☆☆☆商品とする

※ 小屋裏及び天井裏等に使用する材料はＦ☆☆☆以上の材料を使用する

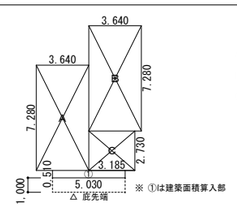
《 新設トイレ数 》

男子：大9 小5

女子：大7　　共用：大3（非水洗）

総計：大19　小5

床建築面積求積計算　S＝1：300



【延床面積】

A　3.640 × 7.280 = 24.4992

B　3.640 × 7.280 = 24.4992

C　3.185 × 2.730 = 8.69505

床面積　61.69~~345~~= ㎡

【建築面積】

A ～ C　= 61.69345

①　5.030 × 0.510 = 2.5653

建築面積　64.25~~878~~ ㎡

面　積　表

	申請建物 ㎡	申請建物 坪
建築面積	64.25	19.44
延床面積	61.69	18.66

承認	設計	担当	

縮尺　S=1:100

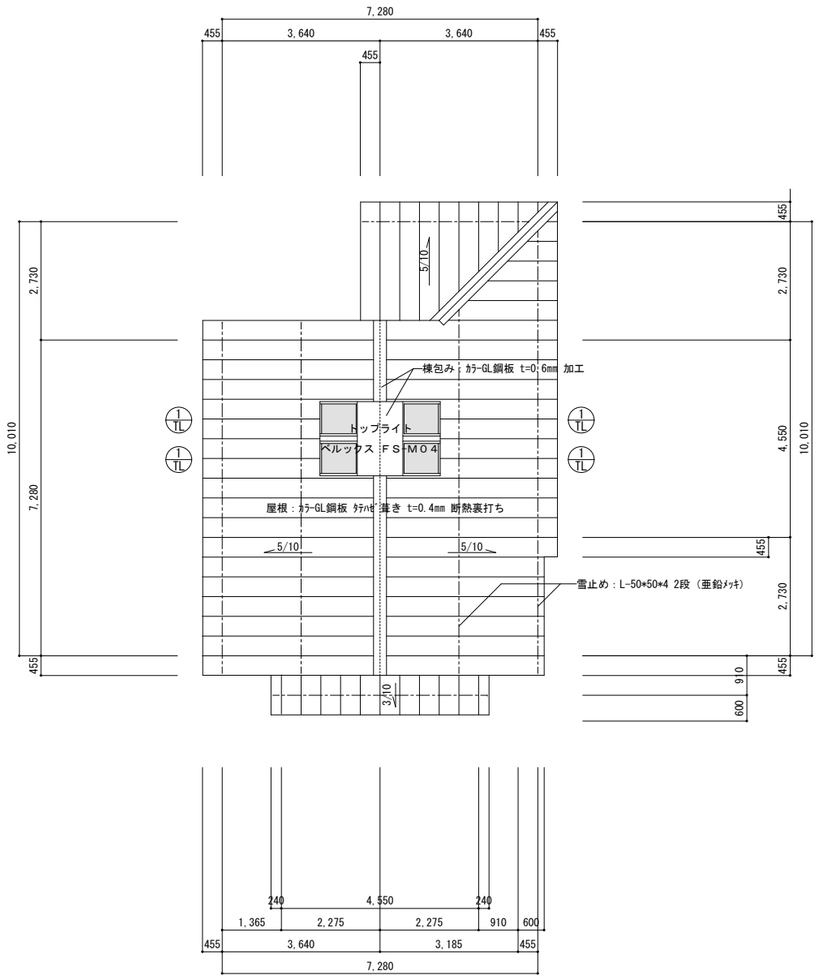
設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事

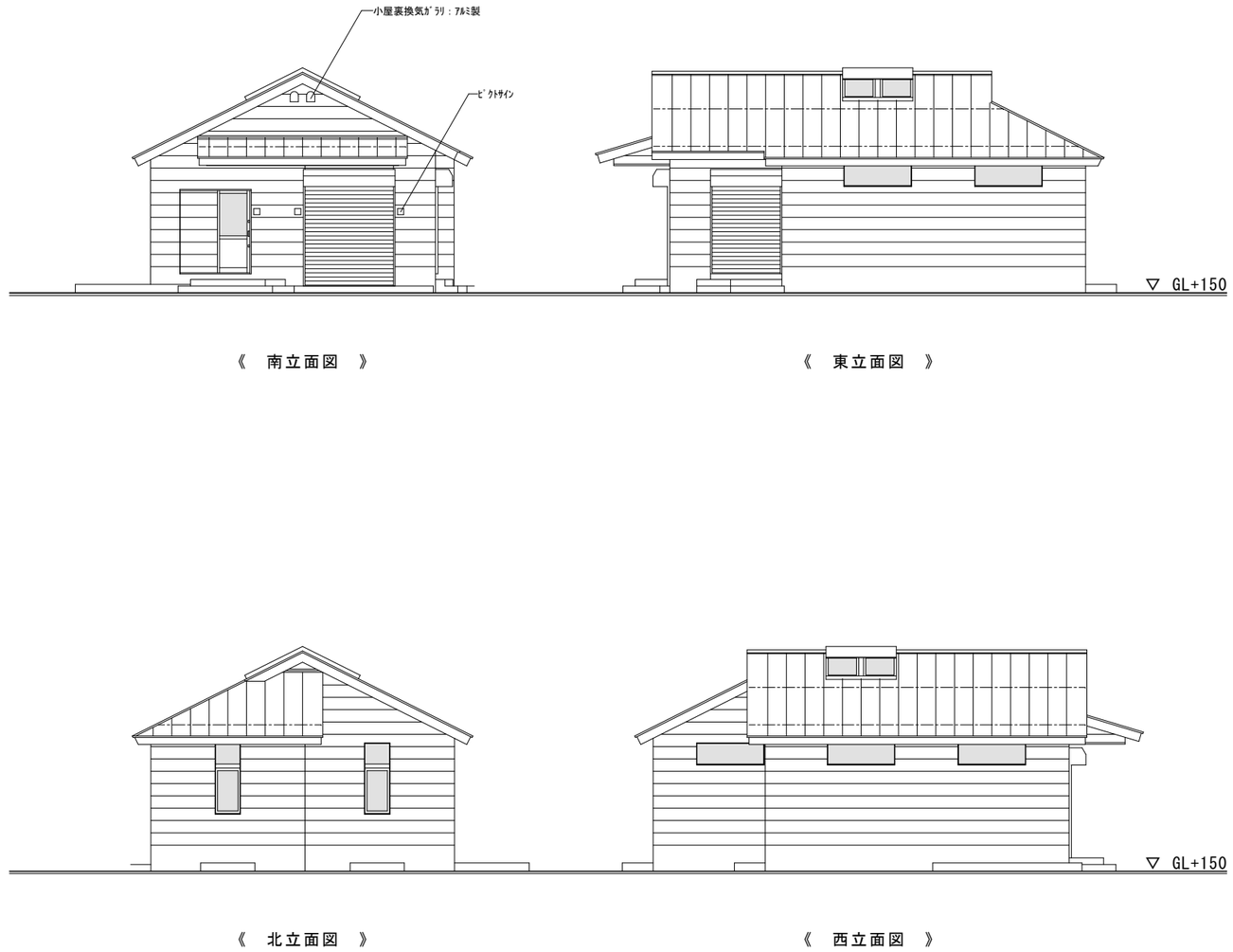
図面名称　平面図

No.　A- 08

屋 根 伏 図　1/100



立 面 図　1/100



《 南立面図 》　《 東立面図 》

《 北立面図 》　《 西立面図 》

外部仕上表

屋　根	垂木 45×60 @455、野地板 合板 T1 t=12mm、改質ゴムアスファルトルーフィング、カラーGL鋼板 タテハゼ葺き t=0.4mm 断熱裏打ち 棟包み、軒先水切り・ケラバ水切り・雨押え：カラーGL鋼板 t=0.6mm 加工　破風板：既成押出し成型板 VP塗り　雪止め：L-50*50*4 2段（亜鉛メッキ）	基　礎	コンクリート打放し補修仕上げ
軒　天	ケイ酸カルシウム板 t=6mm （一部 有孔板）VP塗り　　オーバーハング：アルミ製	ポ ー チ	床：コンクリート 金ゴテ仕上
外　壁	構造用合板 t=9mm 下地、窯業系羽目板調サイディング t=16mm 専用金具張り(防湿透湿シート + 通気胴縁 t=15mm) 小屋裏換気ガラリ：アルミ製　　ピクトサイン：アルミプレート 150×150 カッティングシート（3ヶ所）		
建　具	木造用アルミサッシ、軽量手動シャッター、トップライト	そ の 他	小屋裏・外壁断熱材：高性能GW 16K t=105mm　床下断熱材：防湿ポリスチレンフィルム + 硬質 ポリスチレンフォーム A種 T=50mm 木部防腐防蟻処理：環境対応商品とする　　メッシュフェンス H=900

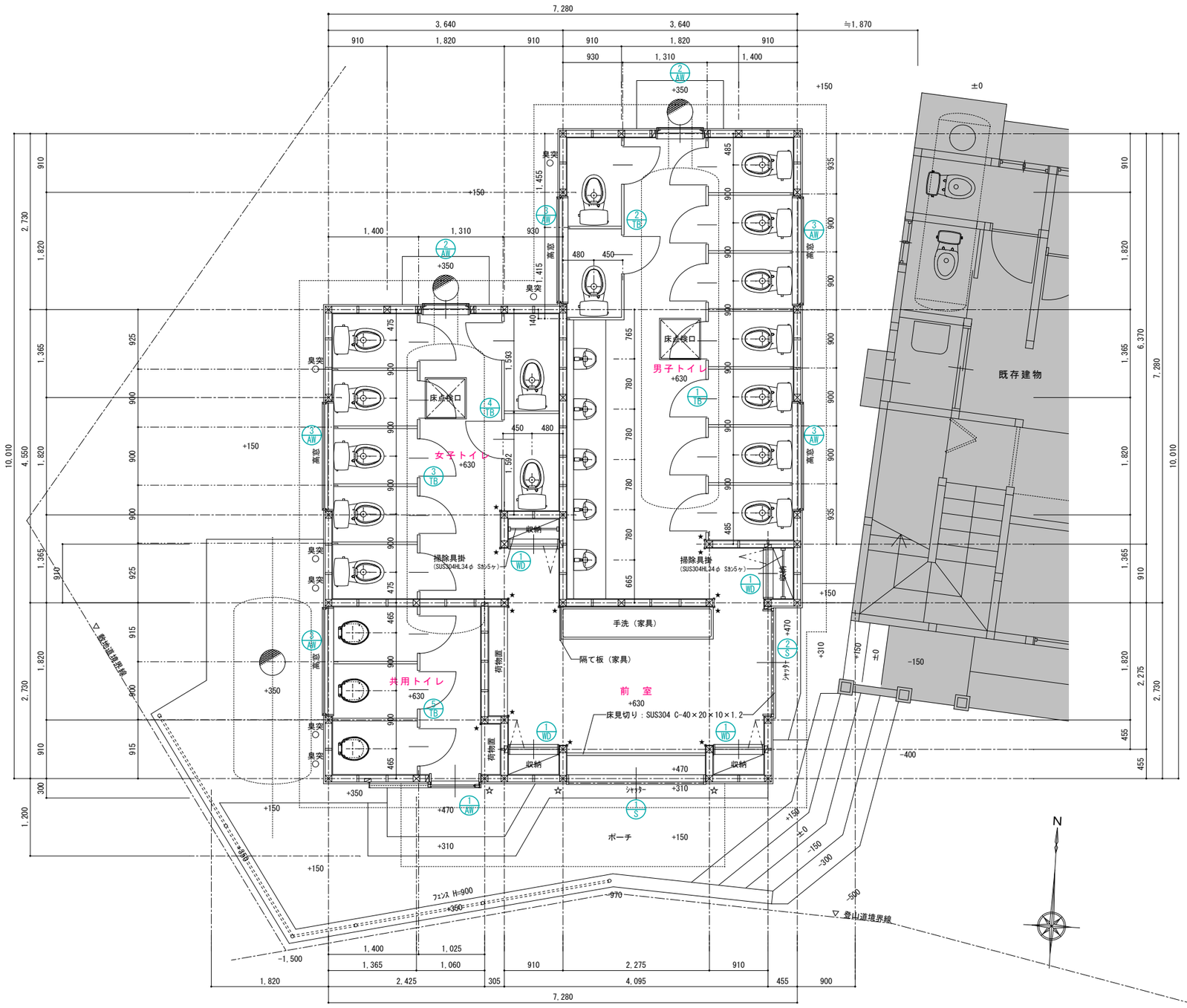
凡 例
WP：木材保護塗装
PU：ポリウレタン塗装

承 認	設 計	担 当	

縮 尺 S=1:100
設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事
図面名称　屋根伏図・立面図

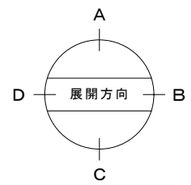
No. A- 09



凡　例

★　壁コーナー：木製 25×25 加工 WP

☆　ピクトサイン：アルミプレート 150×150 カッティングシート



内部仕上表

室　名	床	巾　木	壁	廻り縁	天　井	天井高 GL+630 からの高さ	備　考
前　室	カラーモルタル T=30mm 金ゴテ仕上	カラーモルタル 金ゴテ仕上	PB t=12.5mm + シナ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ケイカル板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + シナ合板 t=5.5mm 目透し張り WP	2,650	手洗、収納、荷物置き
共用トイレ	カラーモルタル T=30mm 金ゴテ仕上	カラーモルタル 金ゴテ仕上	PB t=12.5mm + シナ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ケイカル板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + シナ合板 t=5.5mm 目透し張り WP	2,650	トイレブース、荷物置き
男子トイレ	カラーモルタル T=30mm 金ゴテ仕上 小便器 汚垂石：TOTO ハイドロセラ・フロア PU（厚型）貼り	カラーモルタル 金ゴテ仕上	PB t=12.5mm + シナ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ケイカル板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + シナ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 化粧梁、化粧束、化粧方杖： WP	2,750 ～ 4,360 2,650	トイレブース、トップライト、収納、床点検口
女子トイレ	カラーモルタル T=30mm 金ゴテ仕上	カラーモルタル 金ゴテ仕上	PB t=12.5mm + シナ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ケイカル板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + シナ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 化粧梁、化粧束、化粧方杖： WP	2,750 ～ 4,360 2,650	トイレブース、トップライト、収納、床点検口

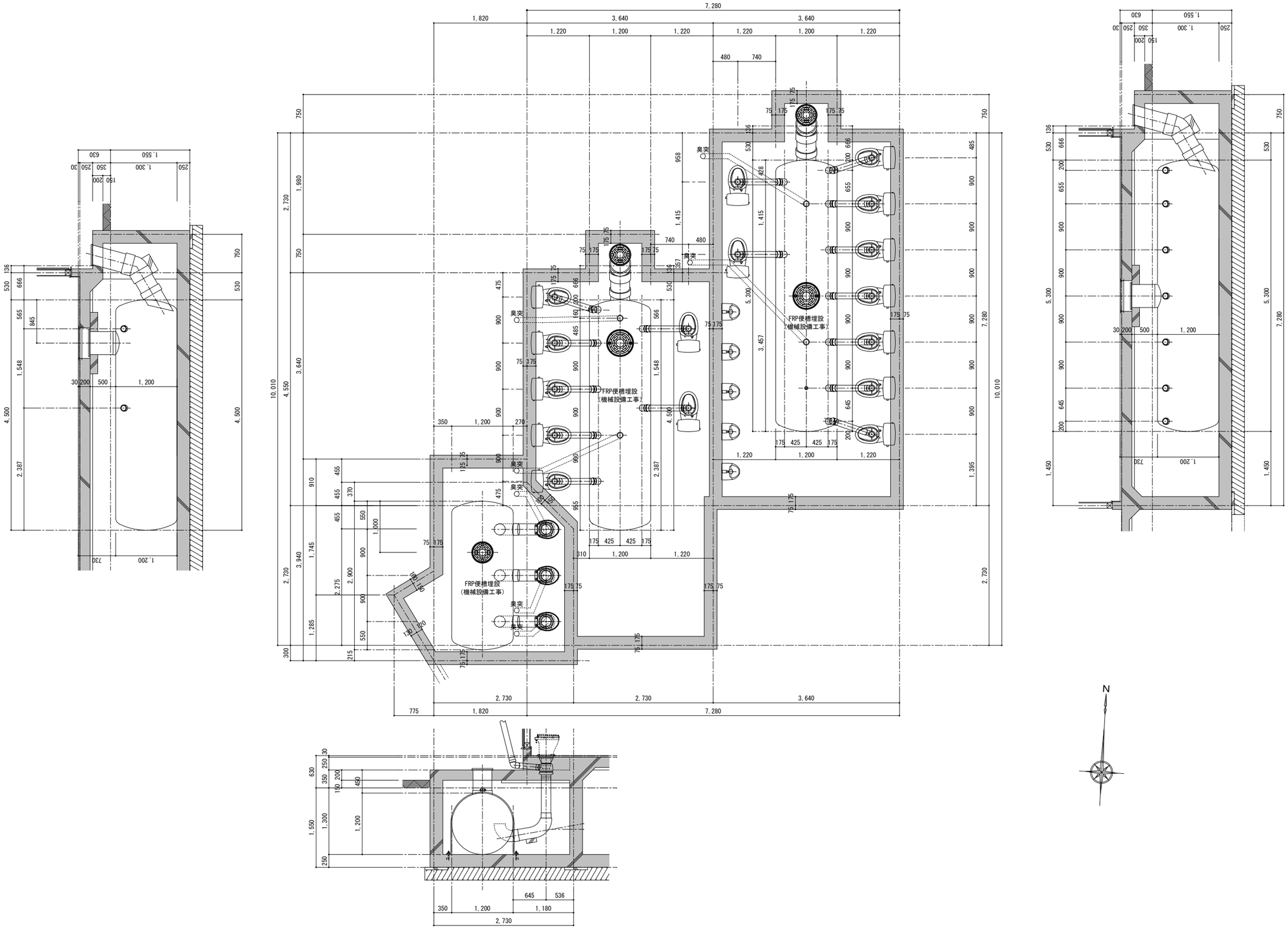
凡　例
WP：木材保護塗装
PU：ポリウレタン塗装

承　認	設　計	担　当	

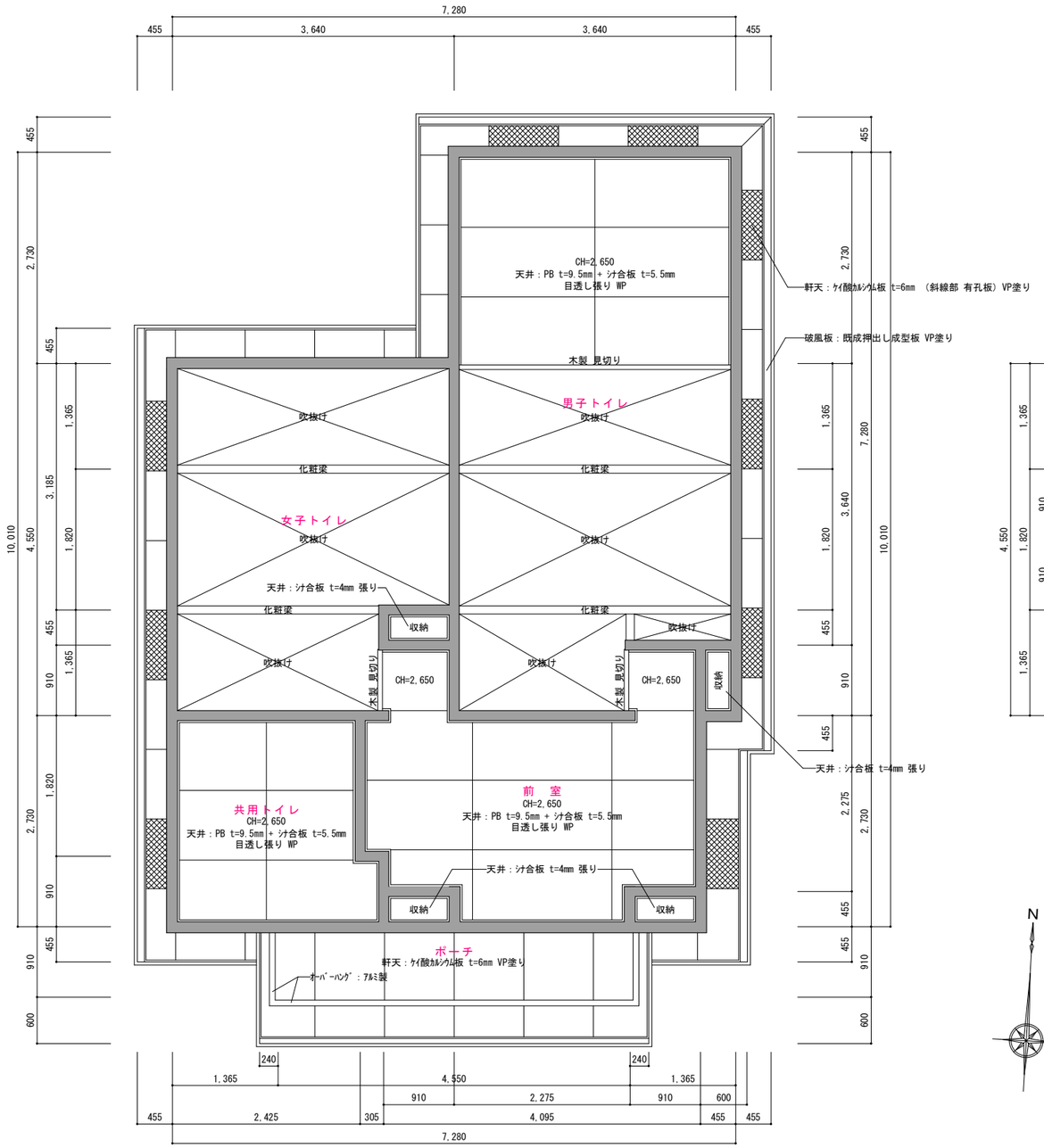
縮　尺　S=1:50
設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事
図面名称　平面詳細図

No.　A- 10



承認	設計	担当		縮尺 S=1:50	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事	
				設計年月日	図面名称	ピット平面詳細図	No. A- 11



《 1階 》

《 小屋裏 》

N

内部仕上表

室　名	床	巾　木	壁	廻り縁	天　井	天井高 GL+630 からの高さ	備　考
前　室	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP	2,650	手洗、収納、荷物置き
共用トイレ	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP	2,650	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、荷物置き
男子トイレ	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上 小便器 汚垂石：TOTO ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗ・ﾌﾛｱ PU（厚型）貼り	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 化粧梁、化粧束、化粧方杖： WP	2,750 ～ 4,360 2,650	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、収納、床点検口
女子トイレ	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 化粧梁、化粧束、化粧方杖： WP	2,750 ～ 4,360 2,650	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、収納、床点検口

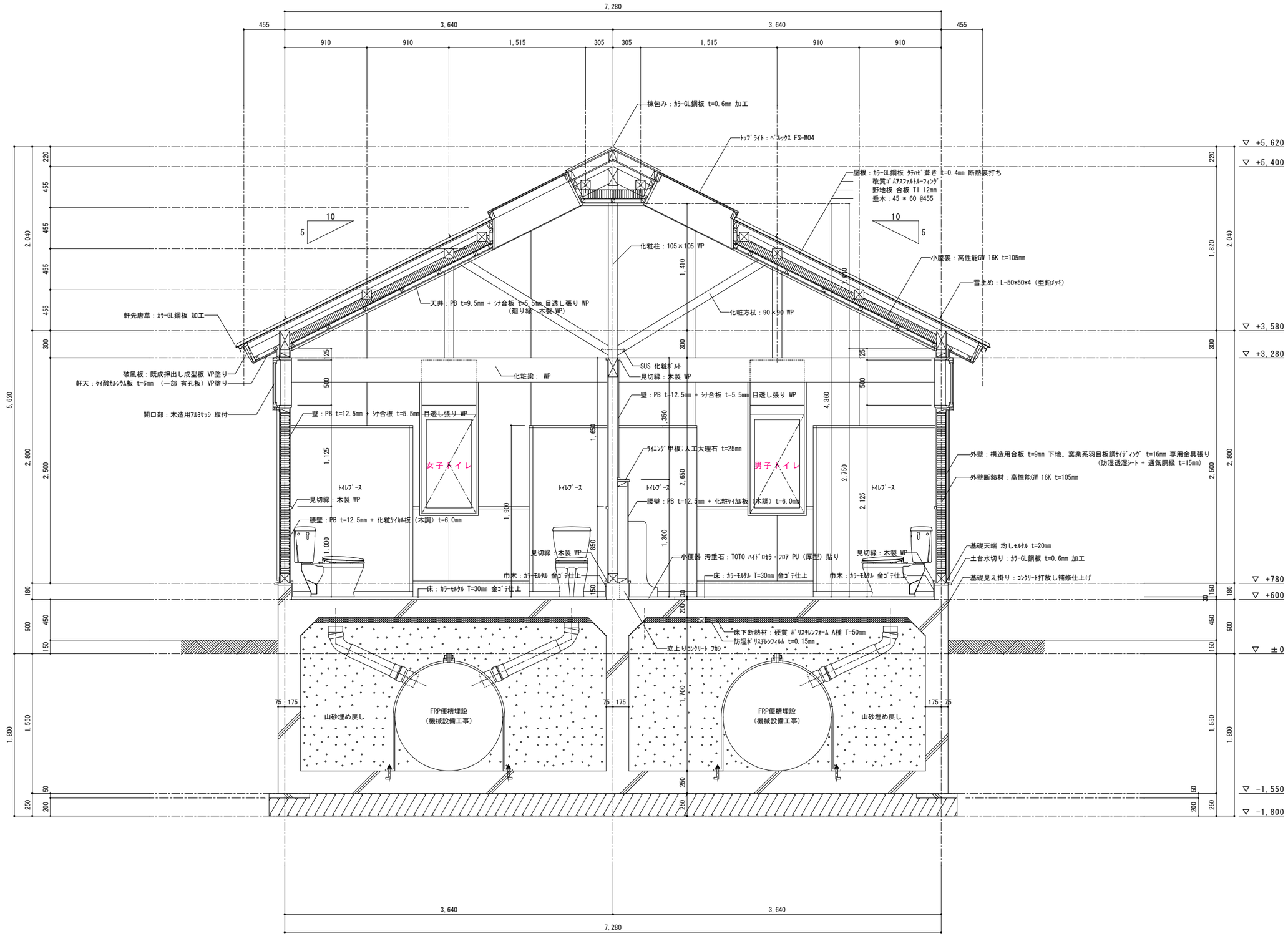
凡　例
WP：木材保護塗装
PU：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装

承　認	設　計	担　当	

縮　尺 S=1:50
設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事
図面名称　天井伏図

No. A- 12



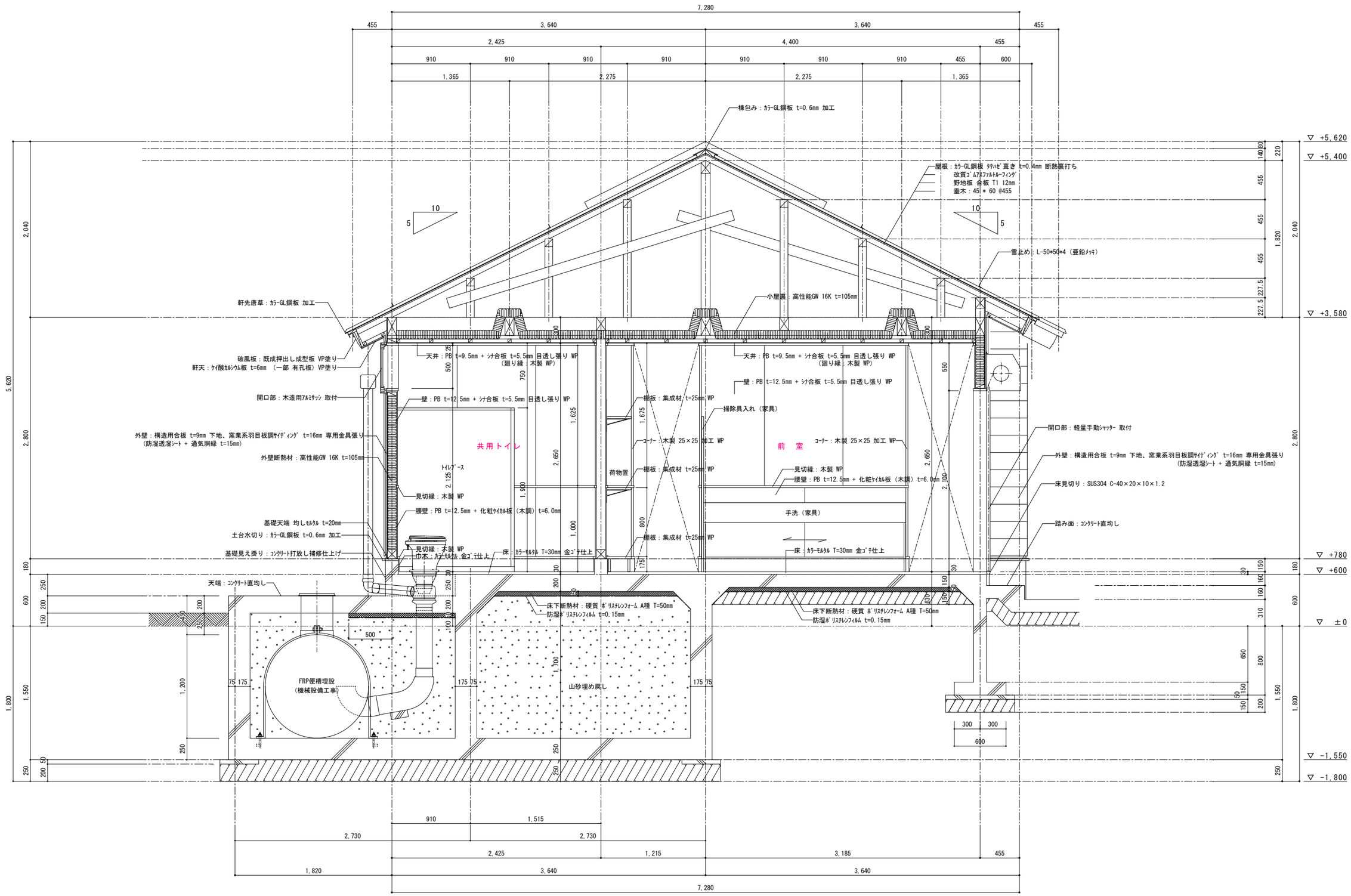
凡　例

WP：木材保護塗装

PU：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装

承　認	設　計	担　当		縮　尺 S=1:30	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事
				設計年月日	図面名称	矩計図 -1

No. A- 13



凡　例

WP：木材保護塗装

PU：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装

承　認	設　計	担　当	

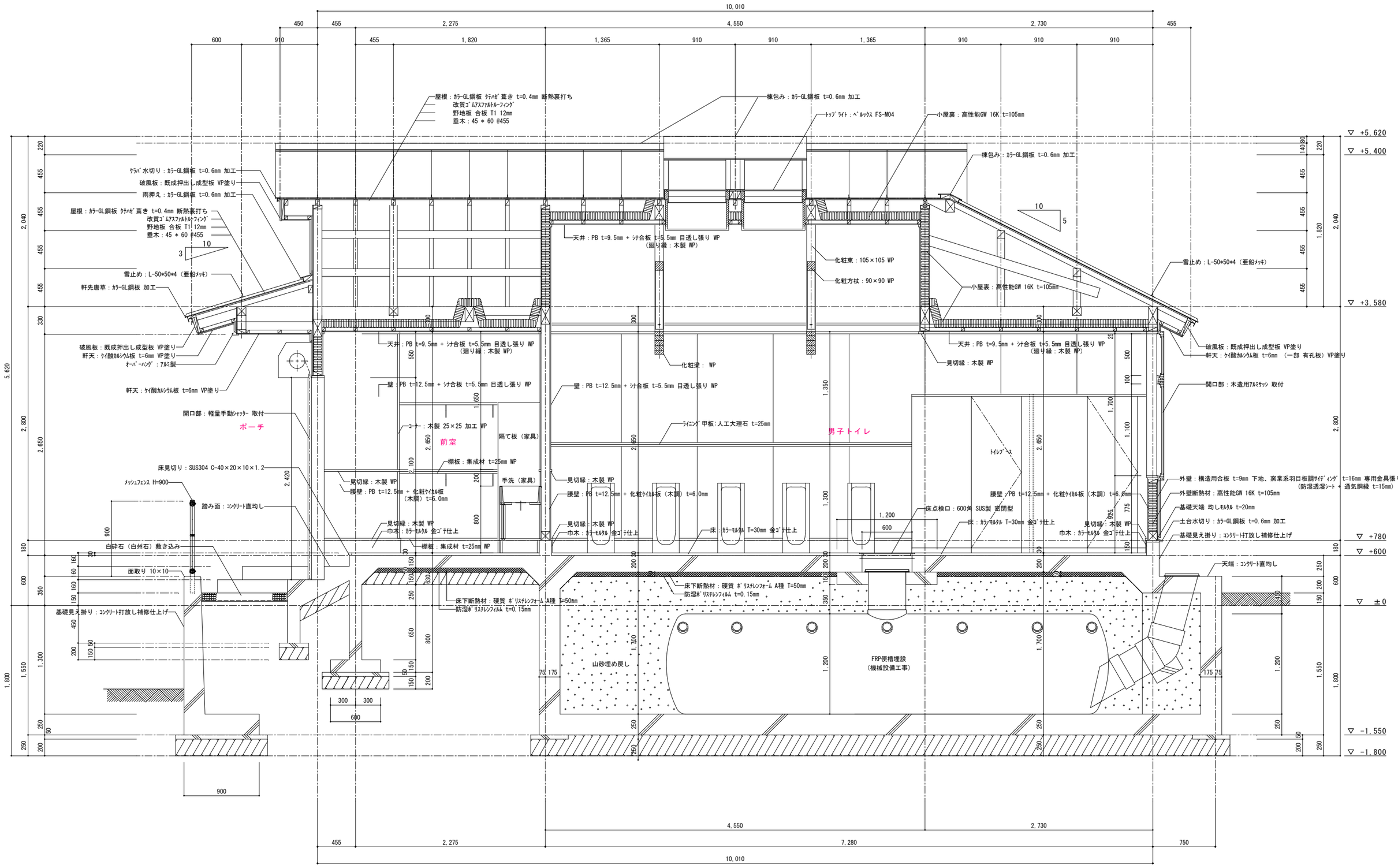
縮　尺　S=1:30

設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事

図面名称　矩計図 -2

No.　A- 14

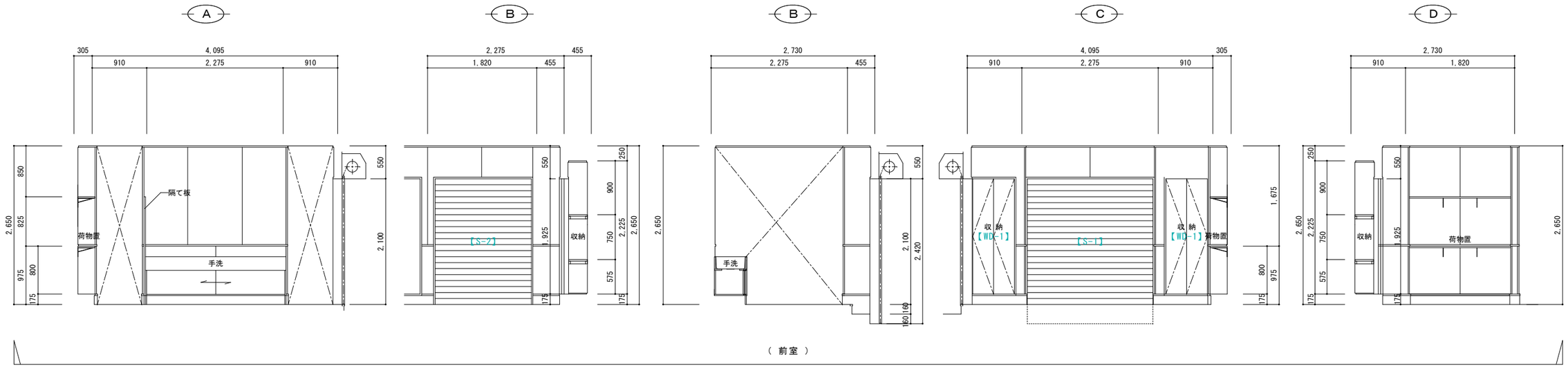


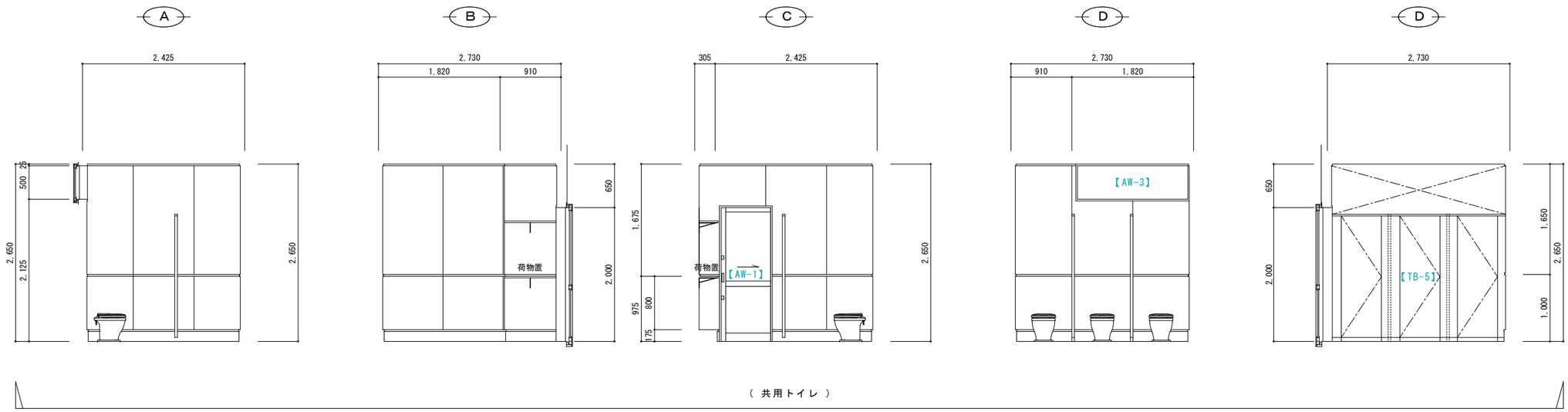
凡　例

WP：木材保護塗装

PU：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装

承　認	設　計	担　当		縮　尺 S=1:30	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事	
				設計年月日	図面名称	矩計図 -3	No. A- 15





内部仕上表

室　名	床	巾　木	壁	廻り縁	天　井	天井高 GL+630 からの高さ	備　考
前　室	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP	2,650	手洗、収納、荷物置き
共用トイレ	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm + 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm + ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP	2,650	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、荷物置き

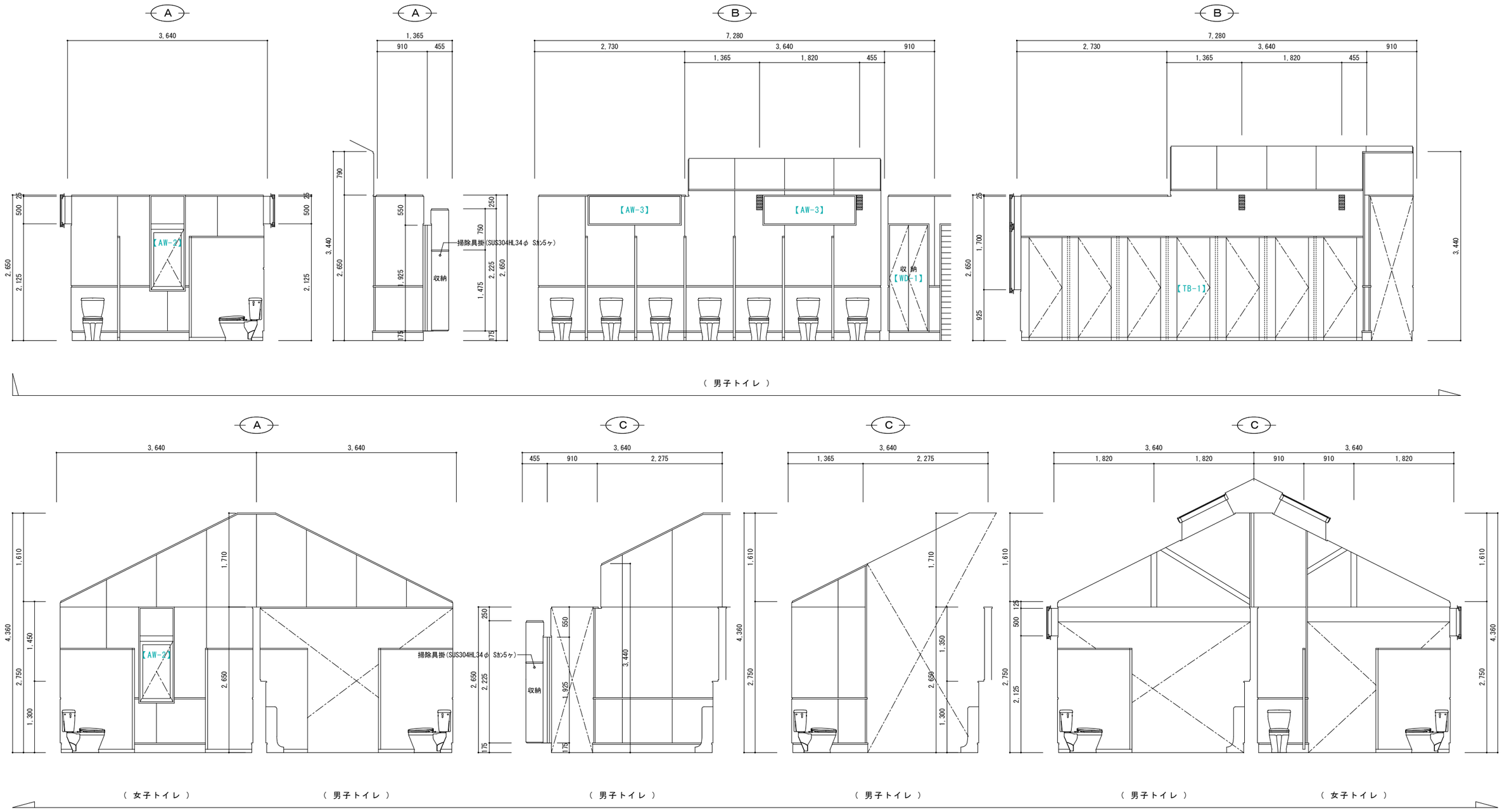
凡　例
WP：木材保護塗装
PU：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装

承　認	設　計	担　当	

縮　尺　S=1:50
設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事
図面名称　展開図-01（前室・共用トイレ）

No.　A- 16



内部仕上表

室　名	床	巾　木	壁	廻り縁	天　井	天井高 GL+630 からの高さ	備　考
男子トイレ	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上 小便器 汚垂石：TOTO ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗ・ﾌﾛｱ PU（厚型）貼り	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm ＋ ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm ＋ 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm ＋ ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 化粧梁、化粧束、化粧方杖： WP	2,750 ～ 4,360 2,650	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、収納、床点検口
女子トイレ	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm ＋ ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm ＋ 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm ＋ ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 化粧梁、化粧束、化粧方杖： WP	2,750 ～ 4,360 2,650	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、収納、床点検口
収納	合板 T1 t=12mm 張り	雑巾摺	ｼﾅ合板 t=5.5mm 張り	木製 WP	ｼﾅ合板 t=4mm 張り		棚、掃除具掛

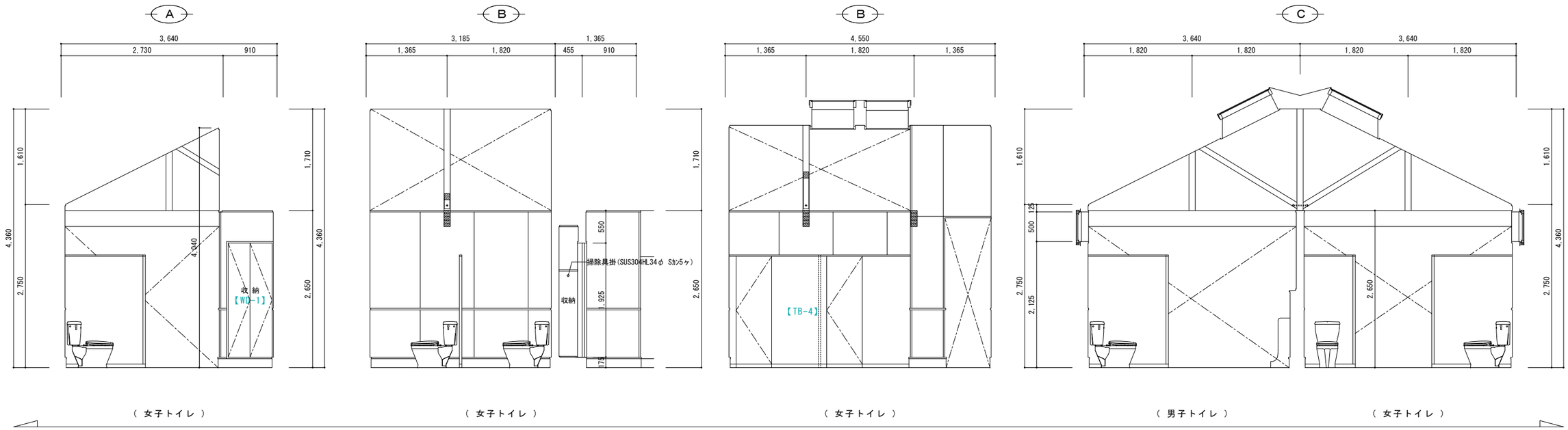
凡　例
WP：木材保護塗装
PU：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装

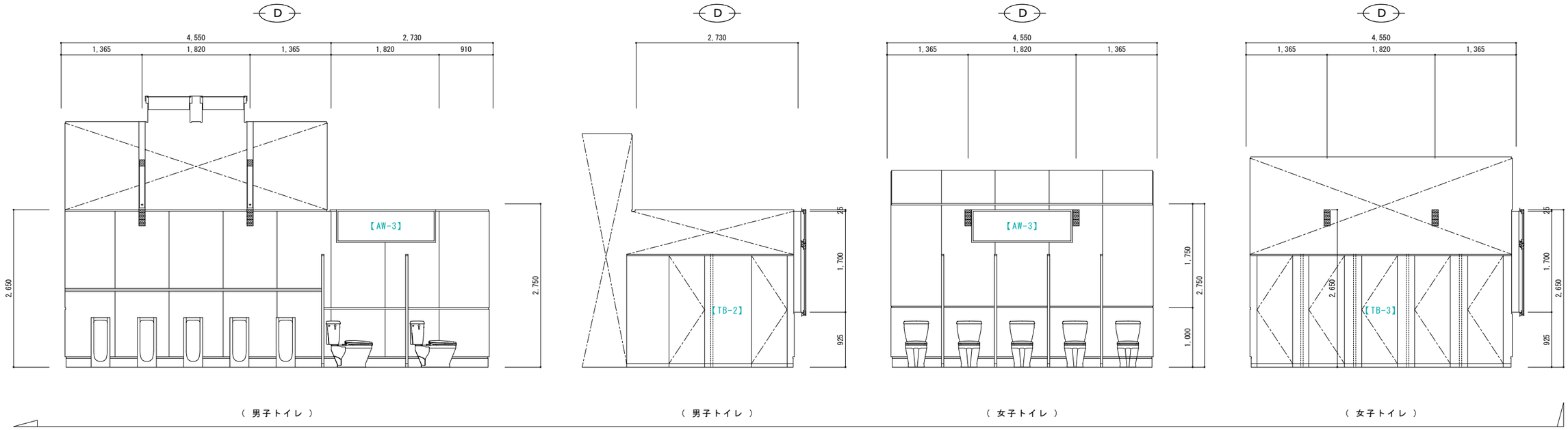
承認	設計	担当	

縮　尺 S=1:50
設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事
図面名称　展開図-02（男子トイレ・女子トイレ）

No. A- 17





内部仕上表

室　　名	床	巾　　木	壁	廻り縁	天　　井	天　井　高 GL+630 からの高さ	備　　考
男子トイレ	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上 小便器 汚垂石：TOTO ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗ・ﾌﾛｱ PU（厚型）貼り	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm ＋ ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm ＋ 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm ＋ ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 化粧梁、化粧束、化粧方杖： WP	2,750 ～ 4,360 2,650	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、収納、床点検口
女子トイレ	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ T=30mm 金ｺﾞﾃ仕上	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ 金ｺﾞﾃ仕上	PB t=12.5mm ＋ ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 腰壁：PB t=12.5mm ＋ 化粧ｹｲｶﾙ板（木調）t=6.0mm	木製 WP	PB t=9.5mm ＋ ｼﾅ合板 t=5.5mm 目透し張り WP 化粧梁、化粧束、化粧方杖： WP	2,750 ～ 4,360 2,650	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、収納、床点検口
収納	合板 T1 t=12mm 張り	雑巾摺	ｼﾅ合板 t=5.5mm 張り	木製 WP	ｼﾅ合板 t=4mm 張り		棚、掃除具掛

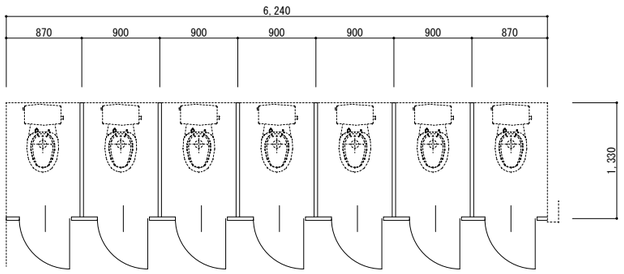
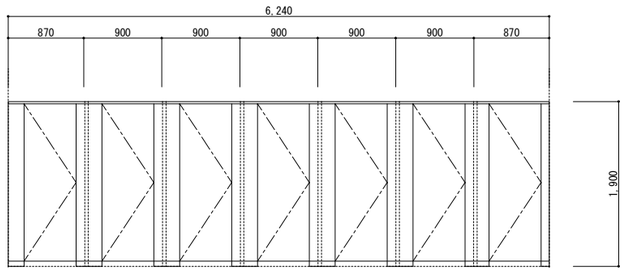
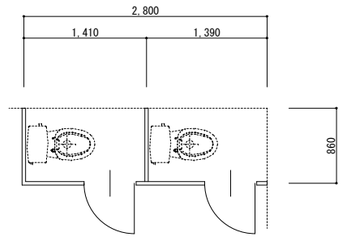
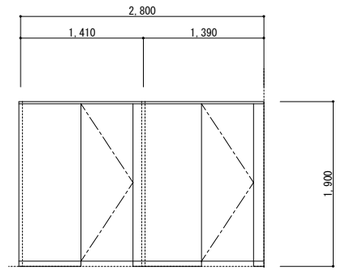
凡　例
WP：木材保護塗装
PU：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装

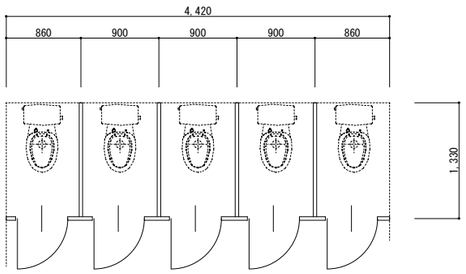
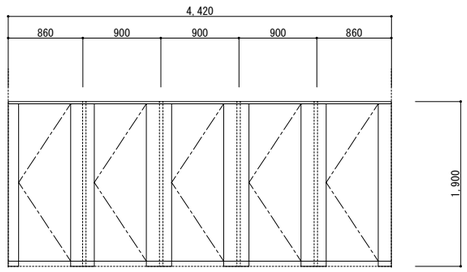
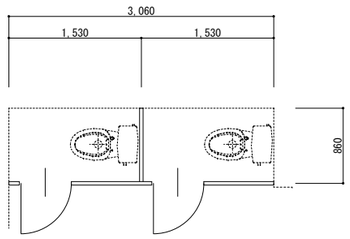
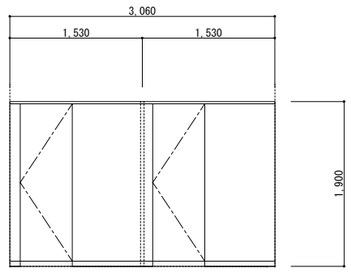
承 認	設 計	担 当	

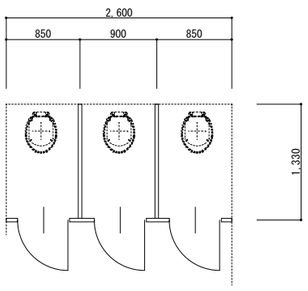
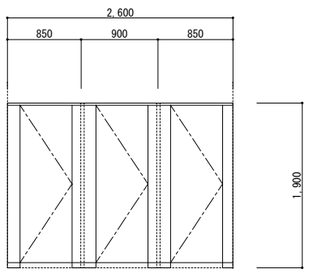
縮　尺　S=1:50
設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事
図面名称　展開図-03（男子トイレ・女子トイレ）

No. A- 18

符号	使用ヶ所	TB-1	男子トイレ （ 数量 1 ）	TB-2	男子トイレ （ 数量 1 ）
姿図					
形式	見込	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ：巾木ﾀｲﾌﾟ（小松ｳｫｰﾙ TB-SL）同等品	ｿﾘｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ 16mm	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ：巾木ﾀｲﾌﾟ（小松ｳｫｰﾙ TB-SL）同等品	ｿﾘｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ 16mm
材質仕上	硝子	表面材：ﾒﾗﾐﾝ樹脂積層板	――――	表面材：ﾒﾗﾐﾝ樹脂積層板	――――
金物		附属金物一式，表示錠，戸当り		附属金物一式，表示錠，戸当り	

符号	使用ヶ所	TB-3	（ 数量 1 ）	TB-4	女子トイレ （ 数量 1 ）
姿図					
形式	見込	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ：巾木ﾀｲﾌﾟ（小松ｳｫｰﾙ TB-SL）同等品	ｿﾘｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ 16mm	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ：巾木ﾀｲﾌﾟ（小松ｳｫｰﾙ TB-SL）同等品	ｿﾘｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ 16mm
材質仕上	硝子	表面材：ﾒﾗﾐﾝ樹脂積層板	――――	表面材：ﾒﾗﾐﾝ樹脂積層板	――――
金物		附属金物一式，表示錠，戸当り		附属金物一式，表示錠，戸当り	

符号	使用ヶ所	TB-5	共用トイレ （ 数量 1 ）
姿図			
形式	見込	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ：巾木ﾀｲﾌﾟ（小松ｳｫｰﾙ TB-SL）同等品	ｿﾘｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ 16mm
材質仕上	硝子	表面材：ﾒﾗﾐﾝ樹脂積層板	――――
金物		附属金物一式，表示錠，戸当り	

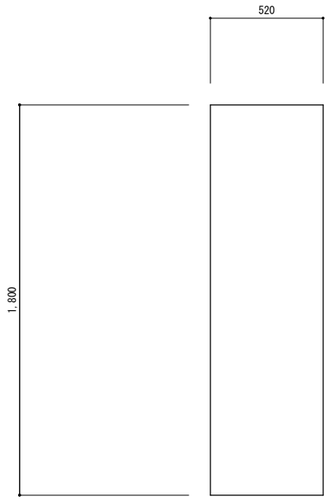
承認	設計	担当		縮尺 S=1:50	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事
				設計年月日	図面名称	トイレブース詳細図

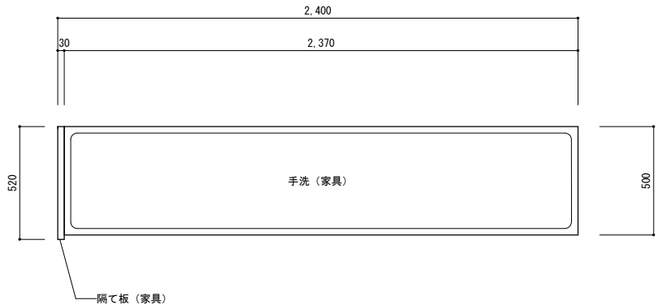
No. A- 19

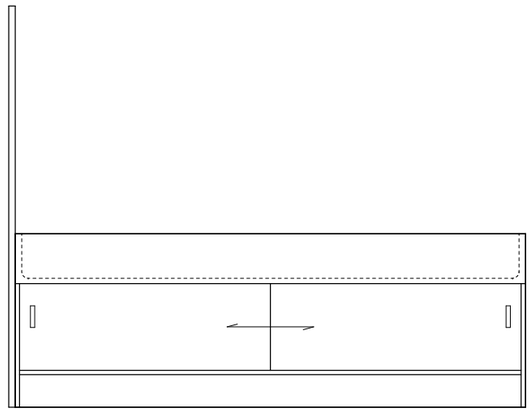
1 掃除具入れ・手洗（家具） S=1:20

隔て板

本 体	集成材 t=30mm WP
金 物	ｽﾃﾝﾚｽ取付金物

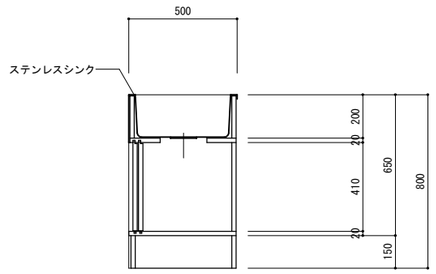




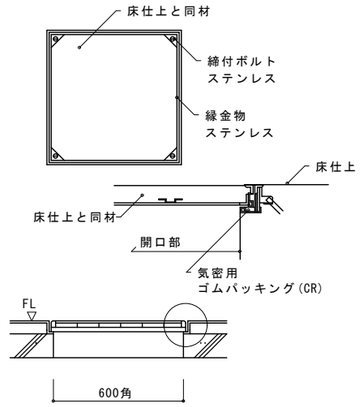


手洗

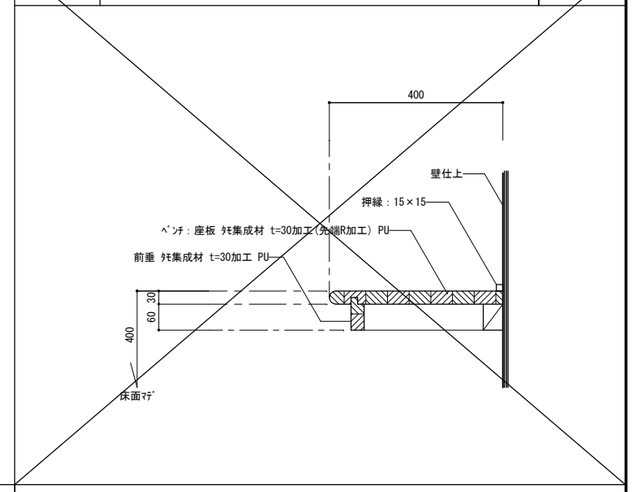
本 体	メラミン化粧板 フラッシュ
金 物	ステンレス引手，Ｖレール，調整戸車 ステンレスシンク



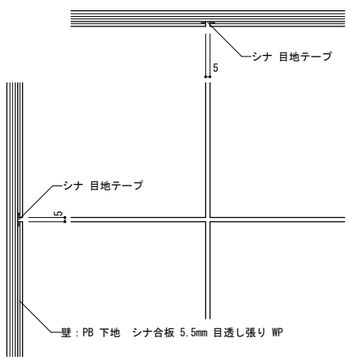
2 床点検口（密閉型） S=1:20



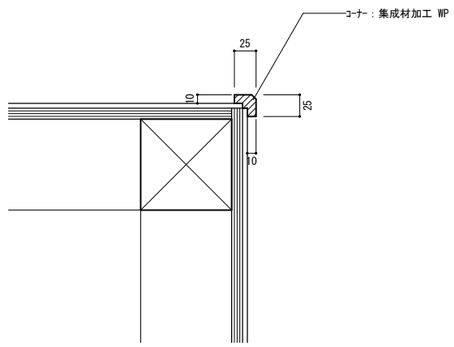
3 ベンチ S=1:10



4 シナ合板 5.5mm 目透し張り S=1:5



5 壁コーナー材 S=1:5



凡 例
WP：木材保護塗装
PU：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装

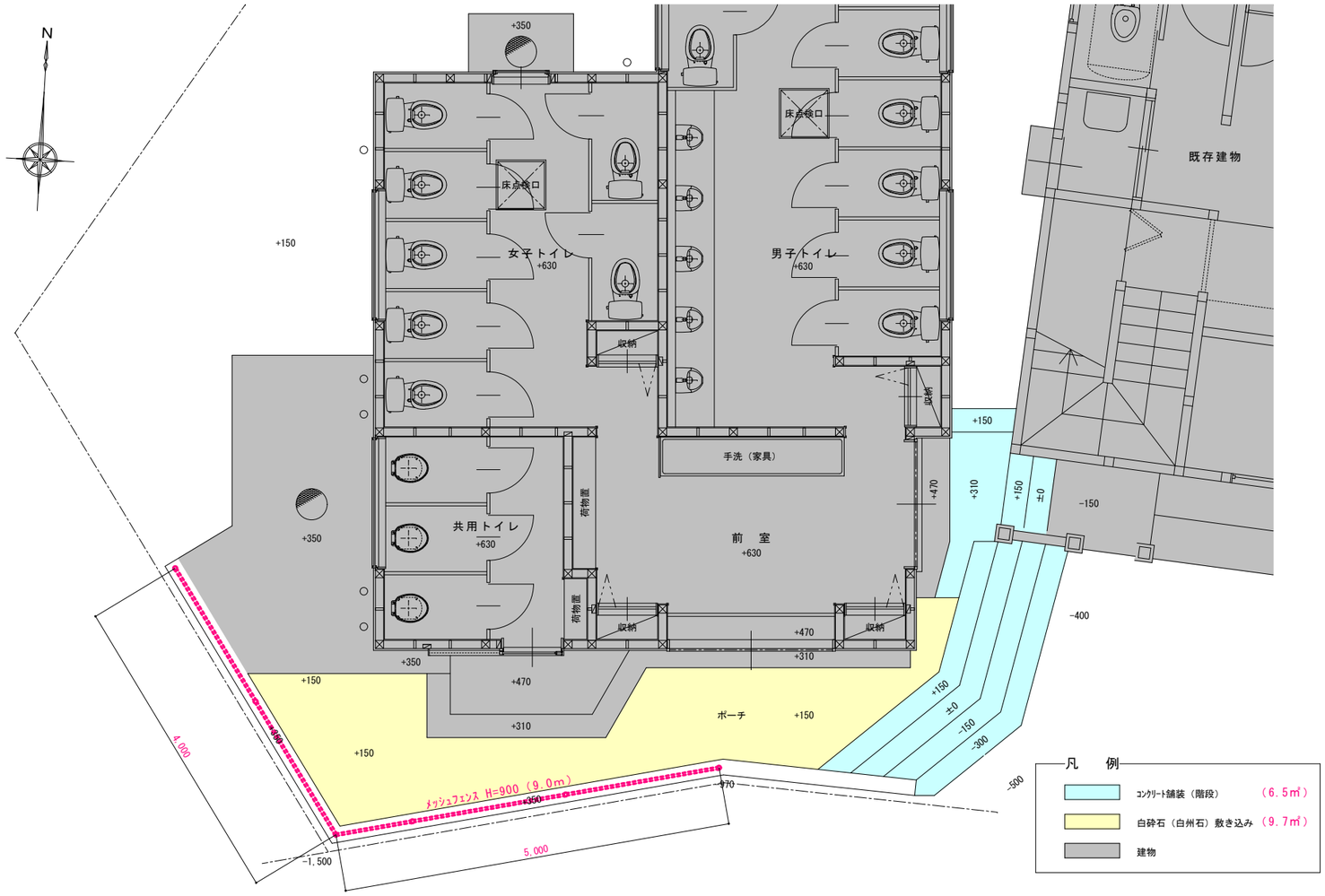
承 認	設 計	担 当	

縮 尺 S=1:5・10・20
設計年月日

工事名称 長衛小屋トイレ改修工事
図面名称 部分詳細図

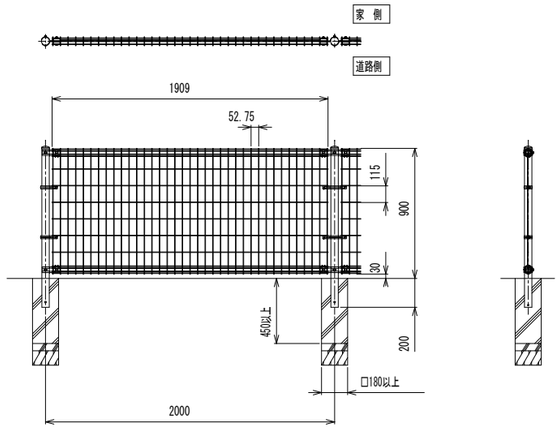
No. A- 20

外　構　図　　S=1:50



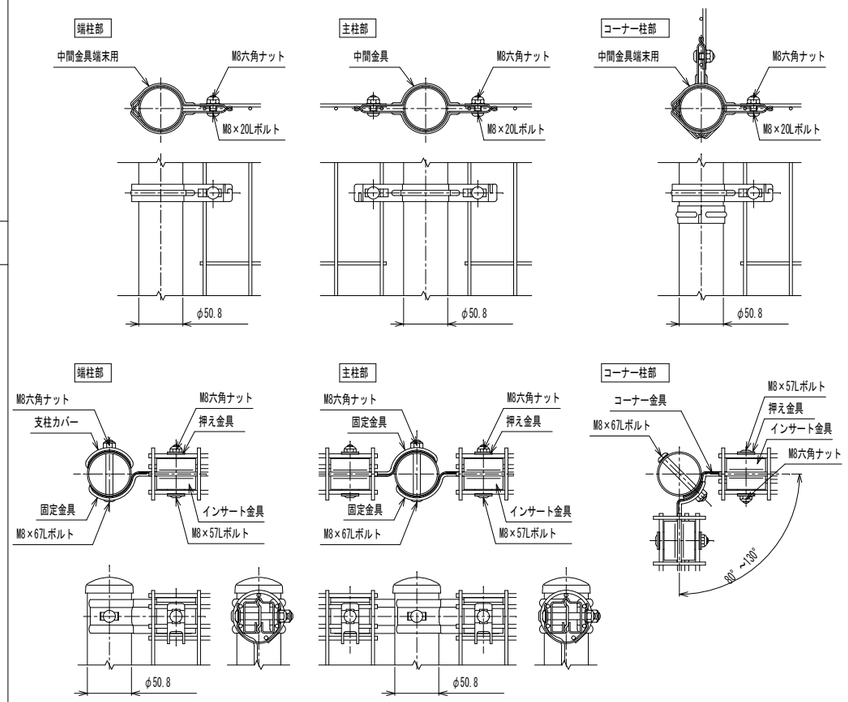
メッシュフェンス H=900　　S=1:30

据付図（S＝1/30）

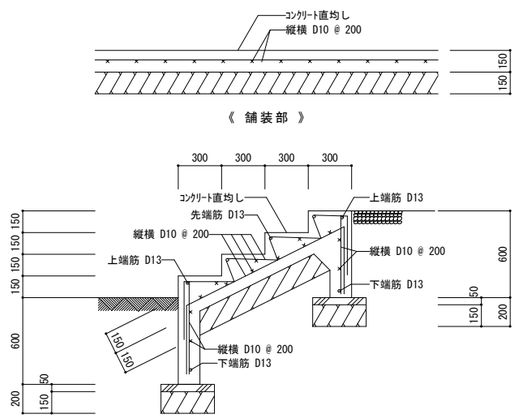


LMF10型（H:900）	
ボルト・ナット類	(SWCH・SPCC)
金具類	(SGH) ポリエステル粉体塗装
本　体	(SWMGH-3) アクリル流動浸漬塗装
支　柱	φ50.8×t1.6 (STK) (Zn・Al・Mg合金メッキ)ポリエステル粉体塗装

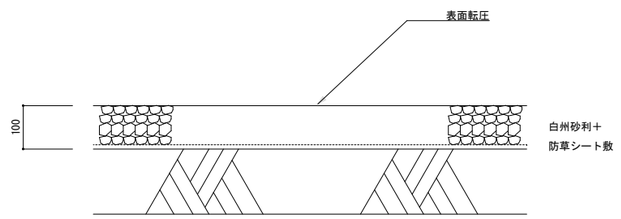
フェンス接続部詳細図



コンクリート舗装（階段）　　S=1:30



白砕石（白州石）敷き込み　　S=1:10



承　認	設　計	担　当	

縮　尺　S=1:10・30・50

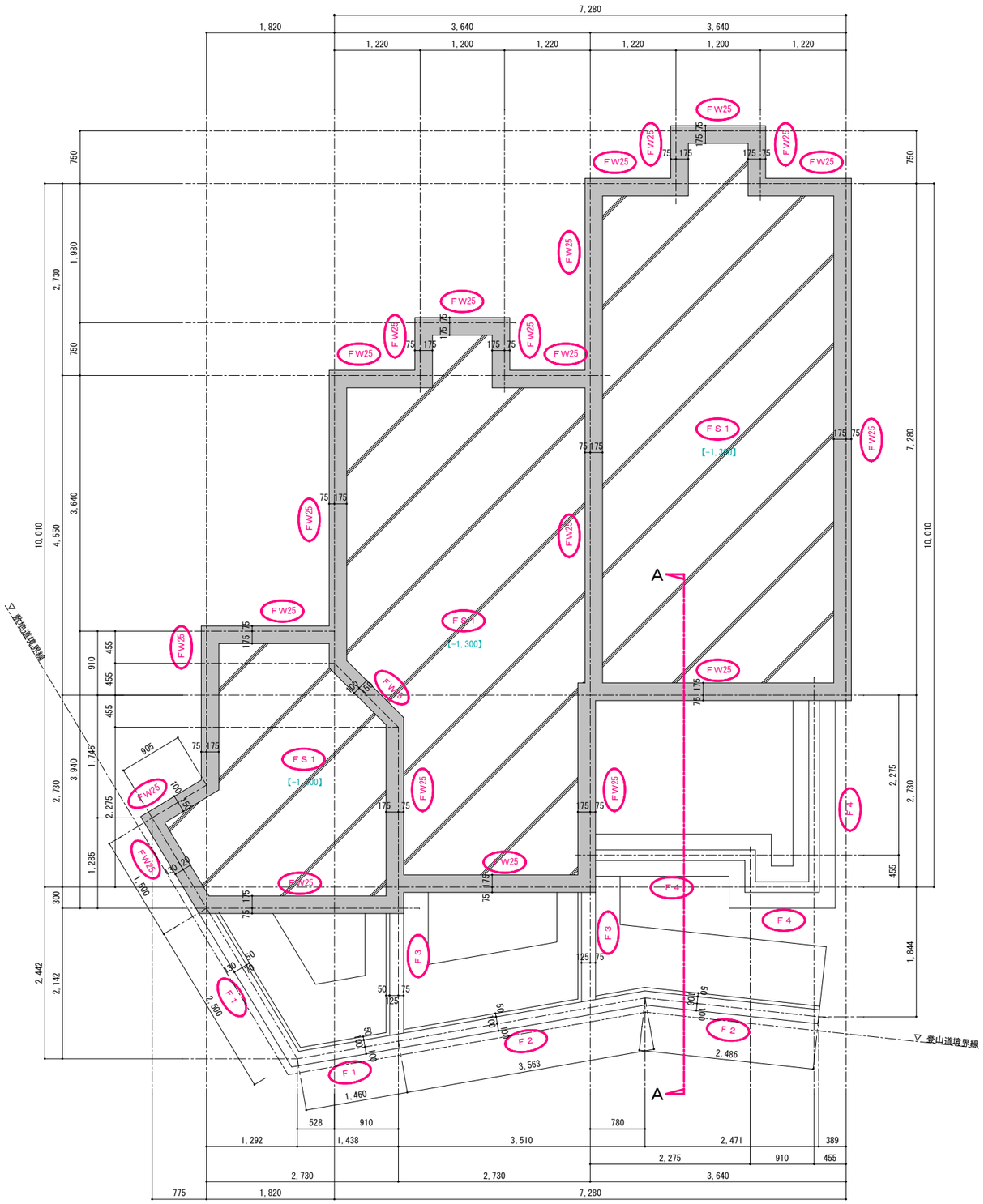
設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事

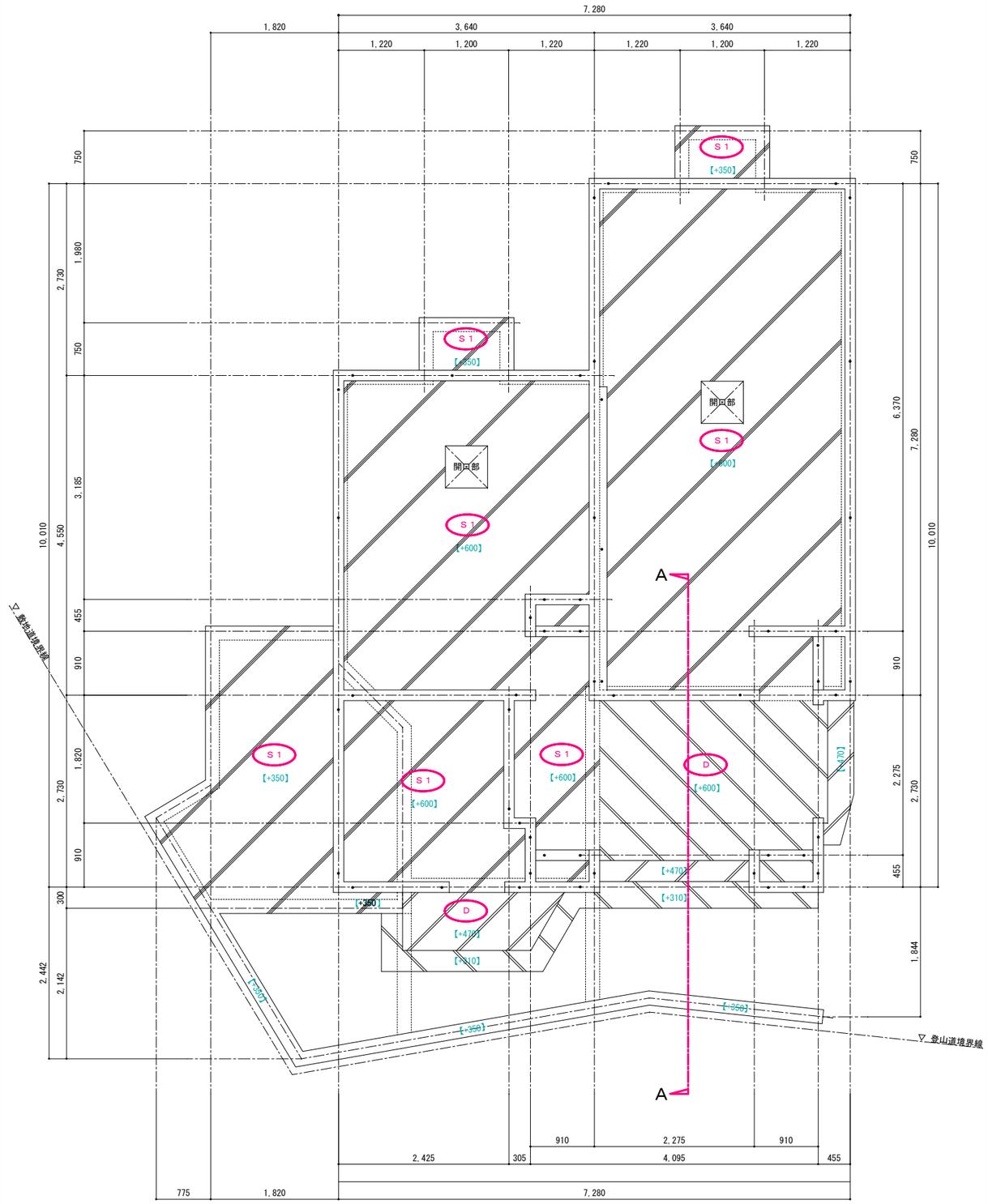
図面名称　外構図・外構詳細図

No.　A－21

基 礎 伏 図　1/50



土 間 伏 図　1/50



凡　例

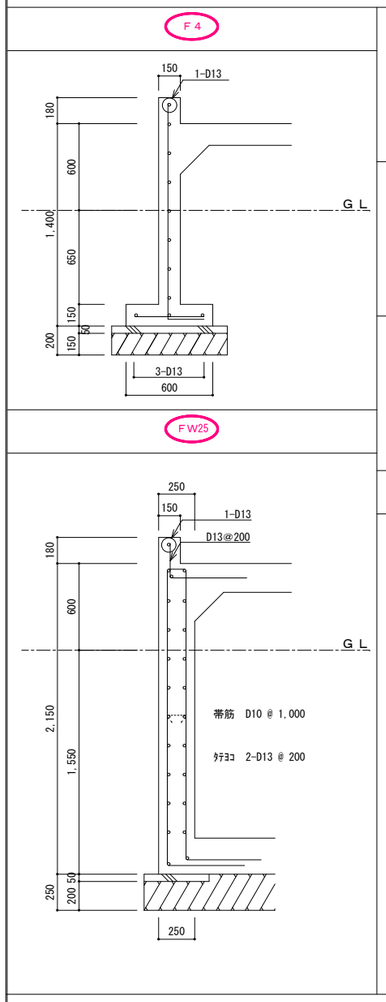
【 ± 】：設計GL＝【±0】 からの高さを示す

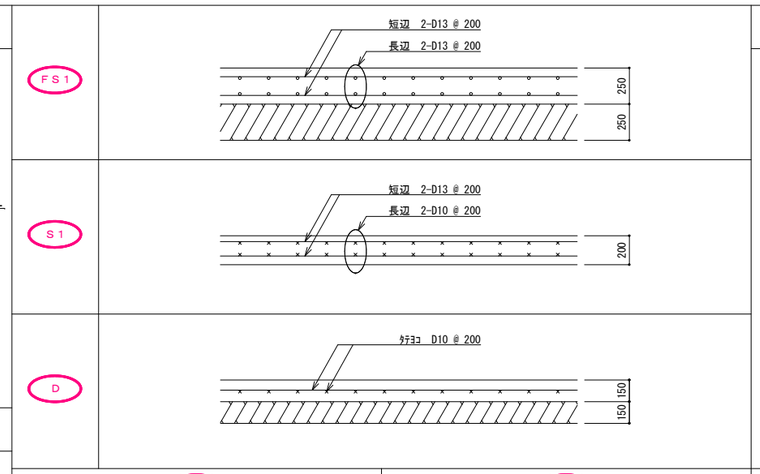
・　：ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ　13φ　L=400

（土台継手位置等考慮の上、監督員と再検討のこと）

承 認	設 計	担 当		縮　尺 S=1:50	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事	
				設計年月日	図面名称	基礎伏図・土間伏図	No. A- 22

部材リスト　1/30



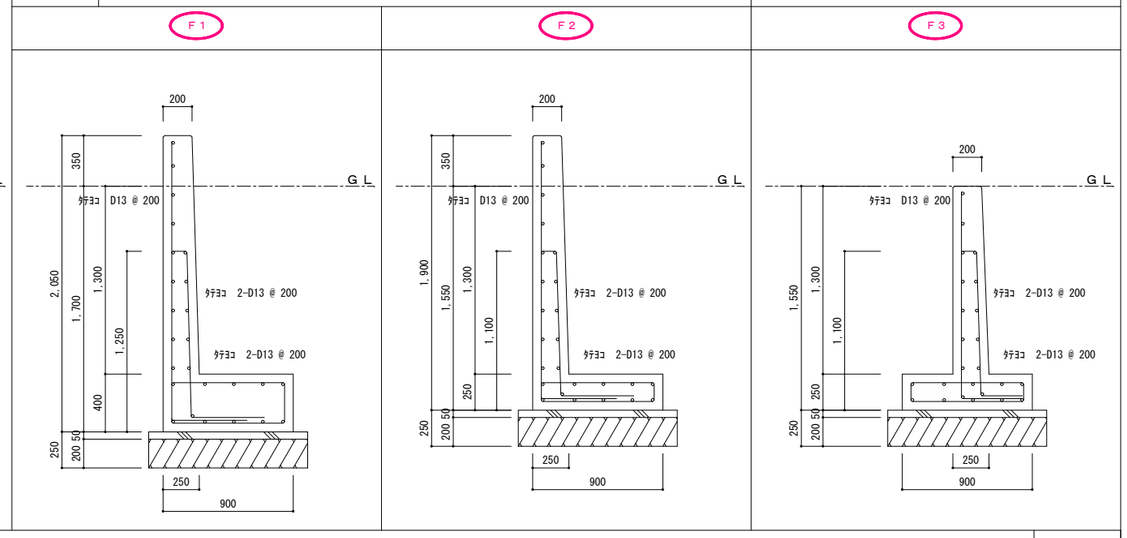


使用材料

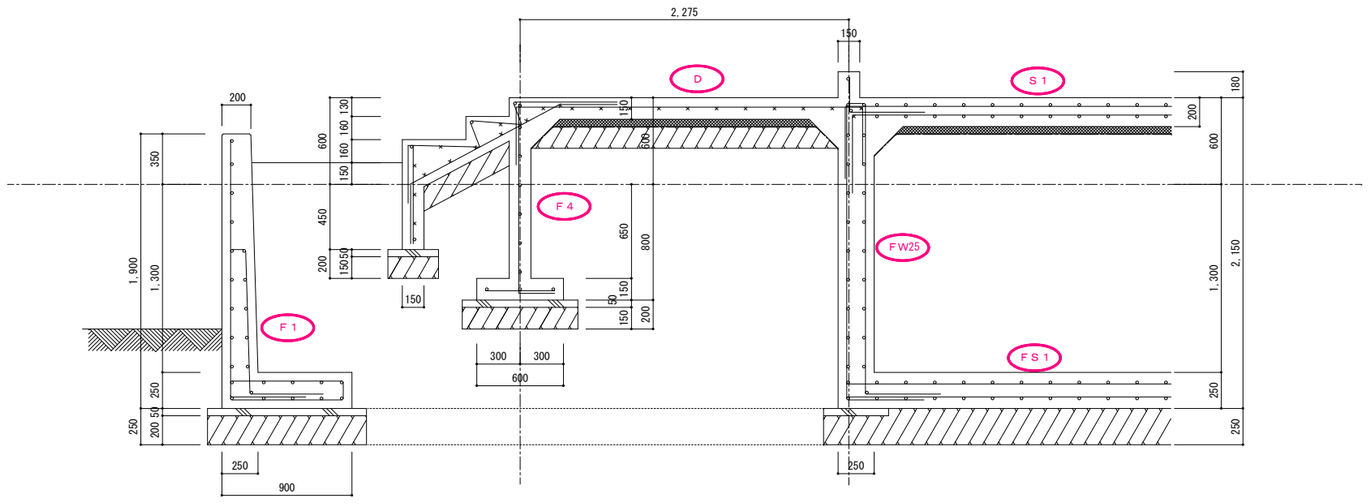
設計基準強度Ｆｃ（N/mm）

コンクリート　Fc=24(N/mm2)　(21+3)

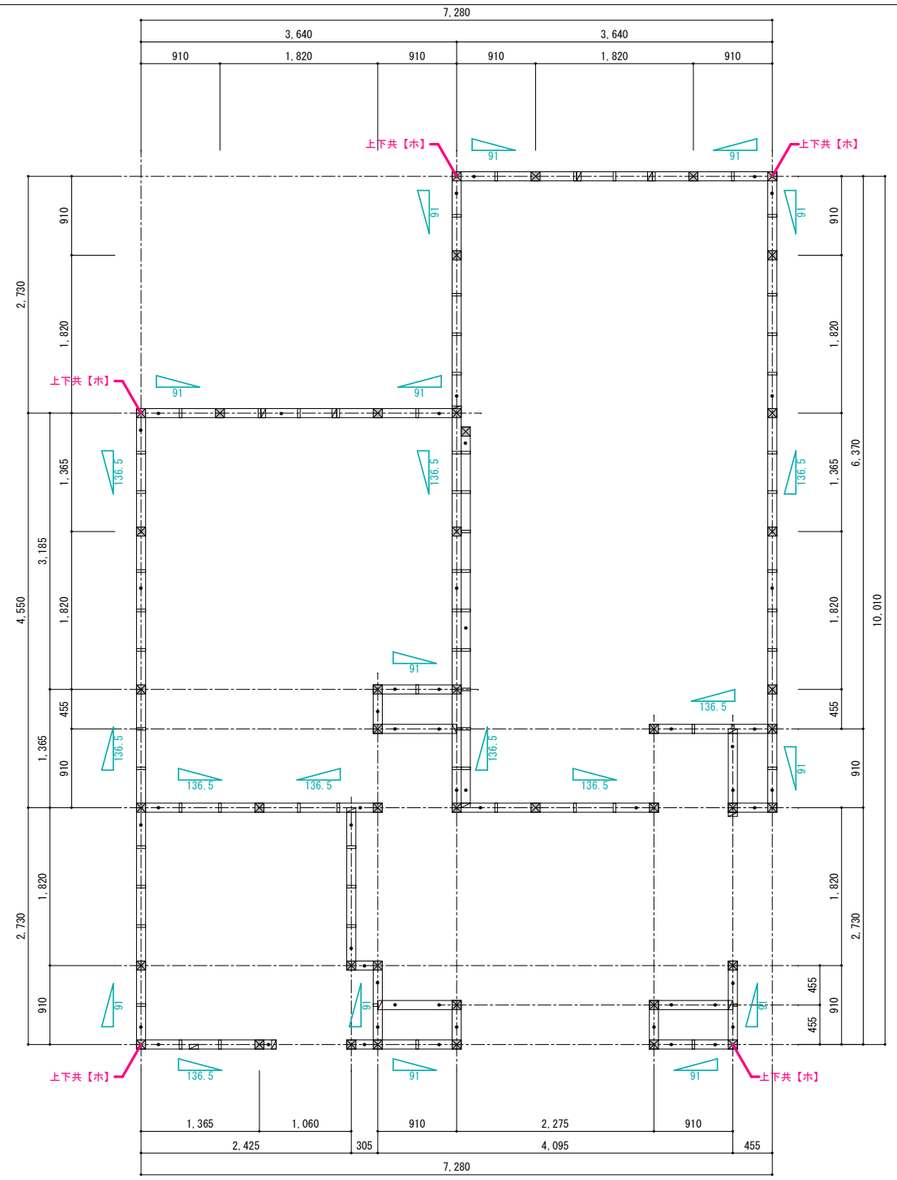
鉄筋　ＳＤ 295 Ａ



基礎詳細図（Ａ断面）　1/30



床　伏　図　1/50

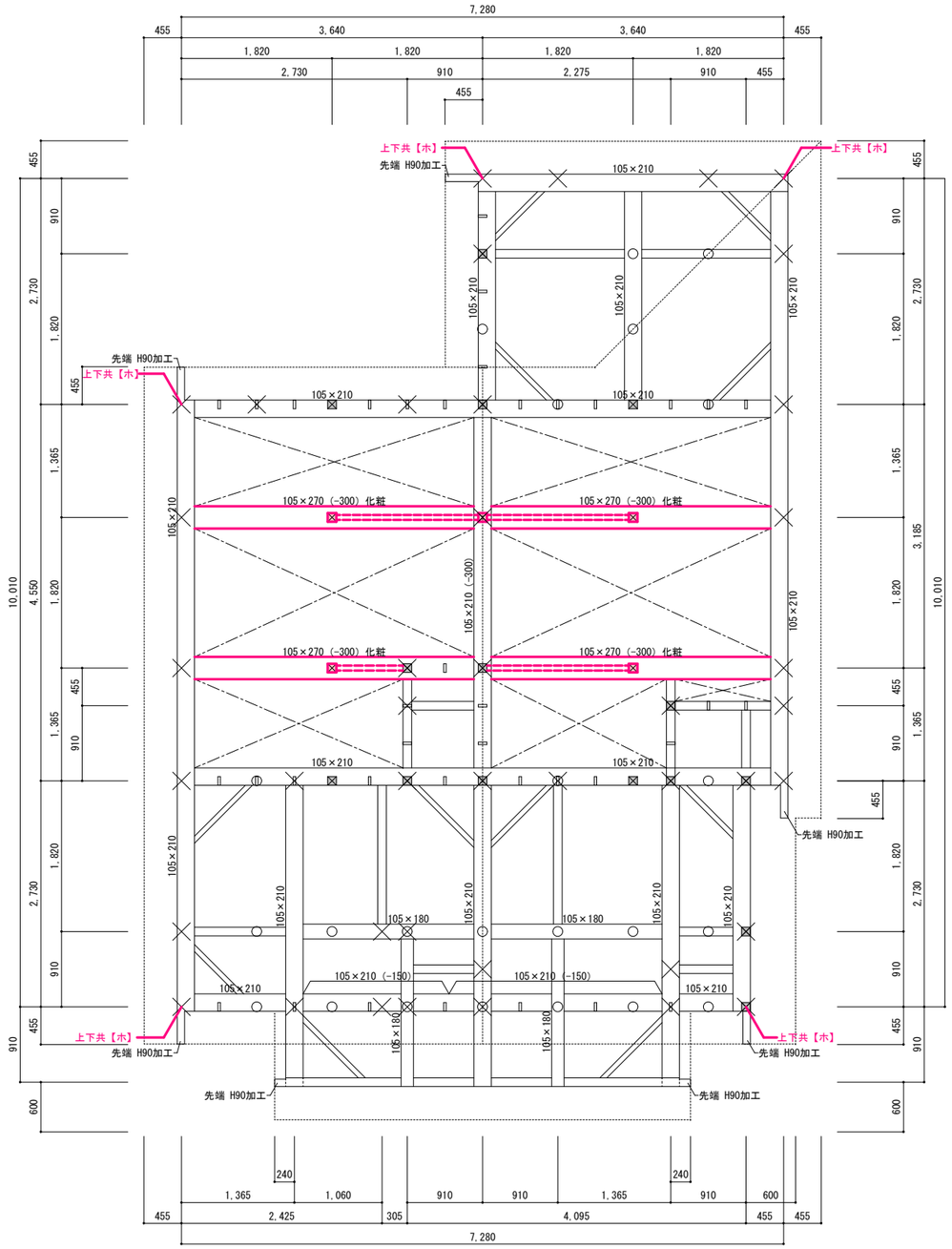


凡 例 ・ 特 記 事 項

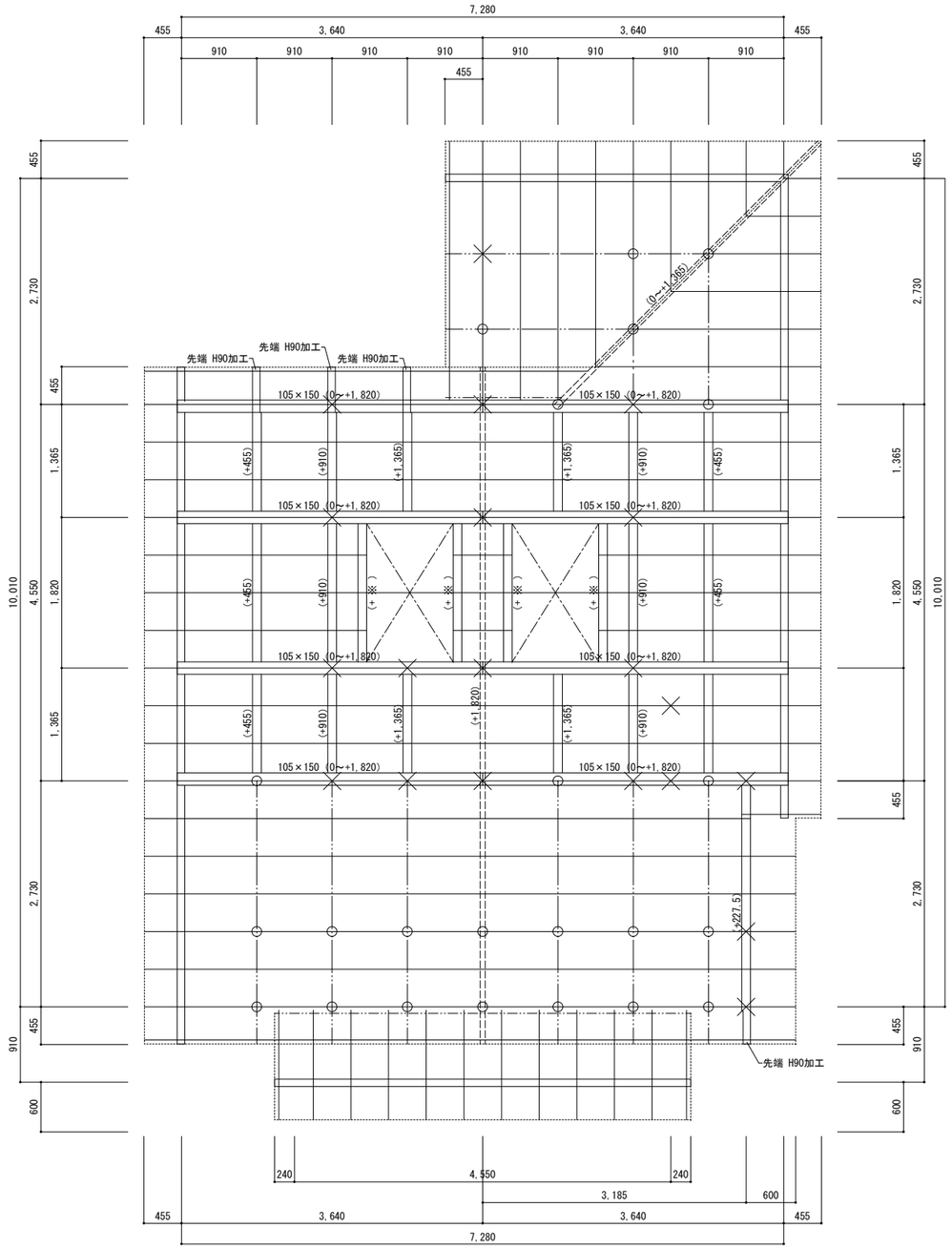
図	1階管柱　集成材：1 級　105 ＊ 105
	土　台　防腐米松特 1　105 ＊ 105
下◢上	：筋違いの位置　45×90　シングル
上下共【・】	国土交通省告示第1460号 継手及び仕口補強金物を示す。
・	：ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ　13φ　L=400
	（土台継手位置等考慮の上、監督員と再検討のこと）

承 認	設 計	担 当	縮　尺 S=1:30・50	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事	No. A- 23
			設計年月日	図面名称	部材リスト・基礎詳細図・床伏図	

梁 伏 図　1/50



小 屋 伏 図　1/50



凡 例 ・ 特 記 事 項

- 小屋柱　集成材：1級　105 ＊ 105
- 小屋化粧柱 米松集成材：1級　105 ＊ 105
- 1階柱位置
- 梁　米松：特1 特記無き梁　105 ＊ 105
- 化粧梁 米松集成材：1級
- 火打梁　米松：特1　90 ＊ 90
- 化粧方杖 米松集成材：1級　90 ＊ 90
- 小屋束　90 ＊ 90
- 上下共【・】　国土交通省告示第1460号 継手及び仕口補強金物を示す。

※ 特記なき梁の高さ GL+3,580

※ 特記（−　）　GL+3,580からの高さを示す

凡 例 ・ 特 記 事 項

- 小屋柱位置
- 梁　米松：特1 特記無き梁　105 ＊ 105
- 棟木　米松：特1 105 ＊ 210 加工
- 隅木　米松：特1 105 ＊ 150 加工
- 母屋　90 ＊ 90
- 小屋束　90 ＊ 90
- 垂木位置　45 ＊ 60 @455
- 垂木掛け　45 ＊ 90

※ 特記なき梁の高さ GL+3,580

※ 特記（−　）　GL+3,580からの高さを示す

承認	設計	担当		縮尺 S=1:50	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事	
				設計年月日	図面名称	梁伏図・小屋伏図	No. A− 24

建築基準法施行令第４６条第４項の規定に基づく軸組計算表

床面積による軸組計算（地震）

	梁間方向、桁行方向				
1階部分	1階床面積 61.69 ㎡ × (11) cm/㎡ 又は 15 cm/㎡				
	必要壁量 (D) 6.79 m				
有効軸組長さ	令４６条表１による軸組の種類				
	45 × 90				
	判定				

見付面積による軸組計算（風）

梁間方向				桁行方向			
見付面積（Ｈ１） 34.44 ㎡ × 50 cm/㎡				見付面積（Ｋ１） 26.50 ㎡ × 50 cm/㎡			
必要壁量 (E) 18.22 m				必要壁量 (F) 13.25 m			
軸組長さ ×	個所 ×	倍率 =	合計	軸組長さ ×	個所 ×	倍率 =	合計
0.91	7	2	12.74	0.91	6	2	10.92
1.365	5	2	13.56	1.365	5	4	13.65
(D) 又は (E) の大なる数値 18.22 m <			26.39	(D) 又は (F) の大なる数値 13.25 m <			24.57

壁量充足率の検討（各階について、それぞれの側端部分の軸組の検討）

梁間方向

桁行方向の側端部の床面積 (ほ) 17.08 ㎡ × (11) cm/㎡ 又は 15 cm/㎡				桁行方向の側端部の床面積 (へ) 9.20 ㎡ × (11) cm/㎡ 又は 15 cm/㎡			
必要壁量 1.88 m				必要壁量 1.01 m			
軸組長さ ×	個所 ×	倍率 =	合計	軸組長さ ×	個所 ×	倍率 =	合計
0.91	2	2	3.64	0.91	2	2	3.64
1.365	1	2	2.73				
存在壁量合計			6.37	存在壁量合計			3.64
存在壁量 / 必要壁量 = 3.39 ＞1 （１以下は壁率比の検討）				存在壁量 / 必要壁量 = 3.60 ＞1 （１以下は壁率比の検討）			

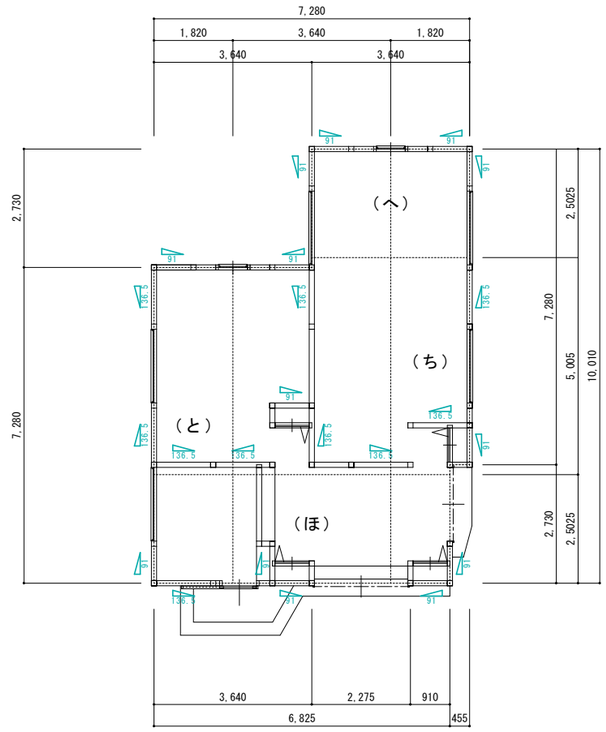
桁行方向

梁間方向の側端部の床面積 (と) 13.25 ㎡ × (11) cm/㎡ 又は 15 cm/㎡				梁間方向の側端部の床面積 (ち) 16.98 ㎡ × (11) cm/㎡ 又は 15 cm/㎡			
必要壁量 1.46 m				必要壁量 1.87 m			
軸組長さ ×	個所 ×	倍率 =	合計	軸組長さ ×	個所 ×	倍率 =	合計
0.91	1	2	1.82	0.91	3	2	5.46
1.365	2	2	5.46	1.365	1	2	2.73
存在壁量合計			7.28	存在壁量合計			8.19
存在壁量 / 必要壁量 = 4.99 ＞1 （１以下は壁率比の検討）				存在壁量 / 必要壁量 = 4.38 ＞1 （１以下は壁率比の検討）			

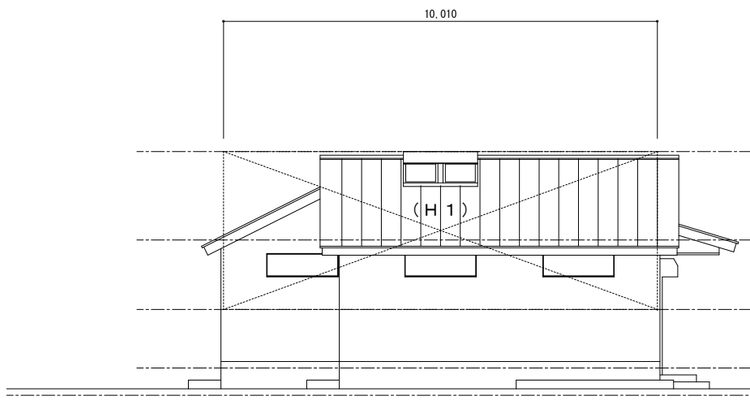
※ 壁率比（壁量充足率の小さい方を壁量充足率の大きい方で除した数値）を各階のそれぞれの方向について検討する

壁率比：壁量充足率の小さい方 / 壁量充足率の大きい方 が ０．５以上であること

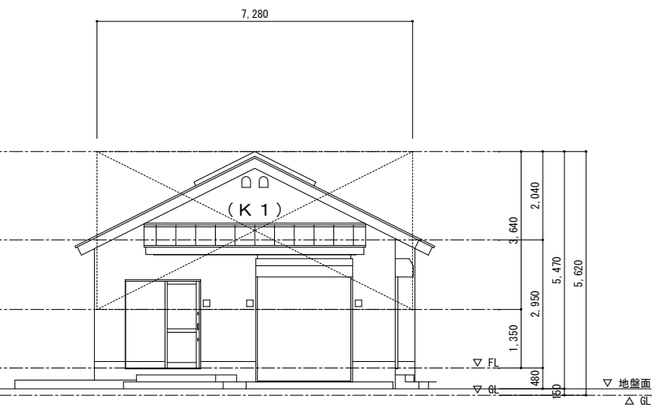
壁率比	梁間方向	桁行方向
1 階	0.94	0.88



《 平面図 》

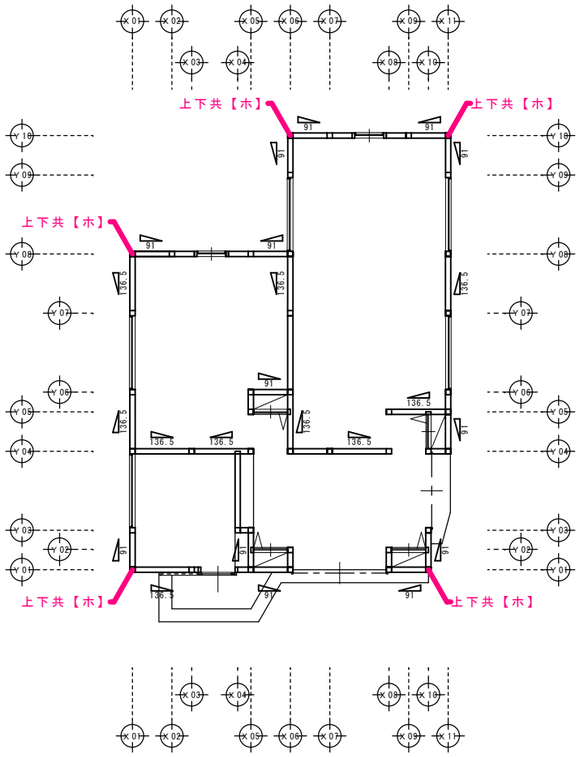


《 梁間方向 》



《 桁行方向 》

承認	設計	担当		縮尺 S=1:100	工事名称	長衛小屋トイレ改修工事	No. A- 25
				設計年月日	図面名称	軸組計算表	



《 平面図 》

凡 例

下 上 筋違いの位置　45×90　シングル

筋違いの位置　45×90　ダブル

【・】 国土交通省告示第1460号 継手及び仕口補強金物を示す。

＊ 特記なき ヶ所は、全て【は】の継手及び仕口補強金物（CP-T同等）を用いる。（上下共）

＊ 図中の補強金物は別紙「Ｎ値計算書」に依り、算定された結果を示す。

筋かいプレート BP-2（Zマーク表示金物）打ち上下共とする。

表一

平屋部分又は最上階の柱			
軸組の種類		出隅の柱	その他の軸組端部の柱
木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面又は両面に打ち付けた壁を設けた軸組		表三（い）	表三（い）
厚さ１．５cm以上幅９cm以上の木材の筋かい又は径９mm以上の鉄筋の筋かいを入れた軸組		表三（ろ）	表三（い）
厚さ３cm以上幅９cm以上の木材の筋かいを入れた軸組	筋かいの下部が取り付く柱	表三（ろ）	表三（い）
	その他の柱	表三（に）	表三（ろ）
厚さ１．５cm以上幅９cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組又は径９mm以上の鉄筋の筋かいをたすき掛けに入れた軸組		表三（に）	表三（ろ）
厚さ４．５cm以上幅９cm以上の木材の筋かいを入れた軸組	筋かいの下部が取り付く柱	表三（は）	表三（ろ）
	その他の柱	表三（ほ）	
構造用合板等を昭和５６年建設省告示第１１００号別表第一（一）項又は（二）項に定める方法で打ち付けた壁を設けた軸組		表三（ほ）	表三（ろ）
厚さ３cm以上幅９cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組		表三（と）	表三（は）
厚さ４．５cm以上幅９cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組		表三（と）	表三（に）

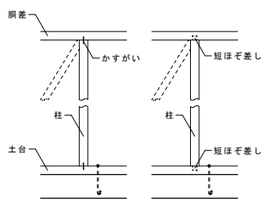
表二

その他（２階建ての１階）の柱		
上階及び当該階の柱が共に出隅の柱の場合	当上階の柱が出隅の柱であり、当該階の柱が出隅の柱でない場合	上階及び当該階の柱が共に出隅の柱でない場合
表三（い）	表三（い）	表三（い）
表三（ろ）	表三（い）	表三（い）
表三（に）	表三（ろ）	表三（い）
表三（と）	表三（は）	表三（ろ）
表三（と）	表三（は）	表三（ろ）
表三（ち）	表三（へ）	表三（は）
表三（り）	表三（と）	表三（に）
表三（ぬ）	表三（ち）	表三（と）

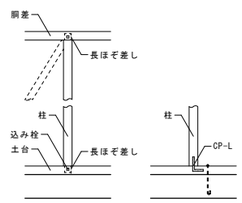
表三　壁を設け又は筋かいを入れた軸組の柱の柱脚及び柱頭の仕口

仕口の構造方法	
（い）	短ほぞ差し、かすがい打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（ろ）	長ほぞ差し込み栓打ち若しくは厚さ２．３mmのＬ字型の鋼板添え板を、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ６．５６．５cmの太め鉄丸釘を５本平打ちしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（は）	厚さ２．３mmのＴ字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ６．５cmの太め鉄丸釘５本平打ちしたもの又は厚さ２．３mmのＶ字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ９cmの太め鉄丸釘４本平打ちしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（に）	厚さ３．２mmの鋼板添え板に径１２mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径１２mmのボルト締め、横架材に対して厚さ４．５mm、４０mm角の角座金を介してナット締めしたもの又は厚さ３．２mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径１２mmのボルト締めとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（ほ）	厚さ３．２mmの鋼板添え板に径１２mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径１２mmのボルト締め及び長さ５０mm、径４．５mmのスクリュー釘打ち、横架材に対して厚さ４．５mm、４０mm角の角座金を介してナット締めしたもの又は厚さ３．２mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径１２mmのボルト締め及び長さ５０mm、径４．５mmのスクリュー釘打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（へ）	厚さ３．２mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径１２mmのボルト２本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径１６mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（と）	厚さ３．２mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径１２mmのボルト３本、横架材（土台を除く）布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径１６mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（ち）	厚さ３．２mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径１２mmのボルト４本、横架材（土台を除く）布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径１６mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（り）	厚さ３．２mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径１２mmのボルト５本、横架材（土台を除く）布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径１６mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（ぬ）	（と）に掲げる仕口を２組用いたもの

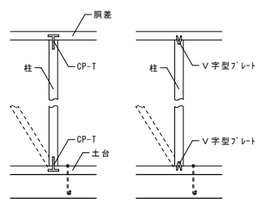
表三の仕口　（い）



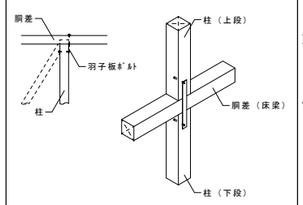
表三の仕口　（ろ）



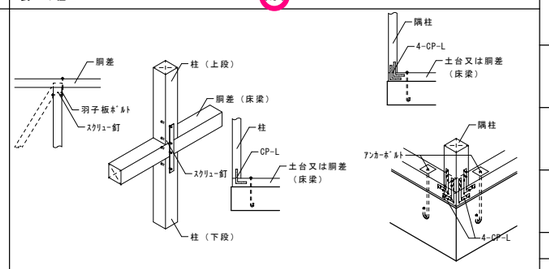
表三の仕口　（は）



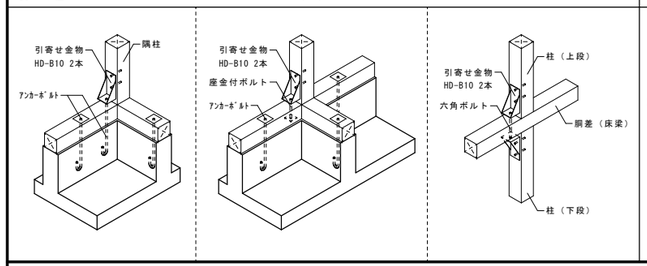
表三の仕口　（に）



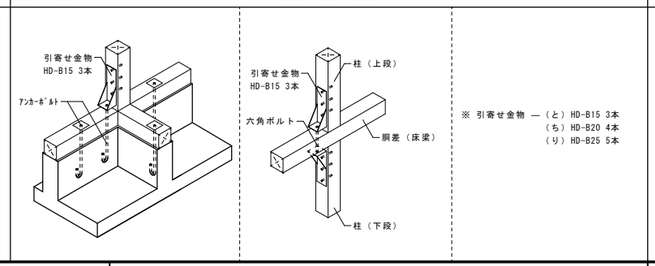
表三の仕口　（ほ）



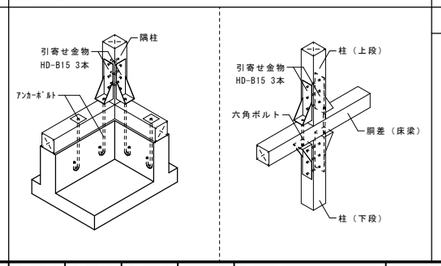
表三の仕口　（へ）



表三の仕口　（と）（ち）（り）

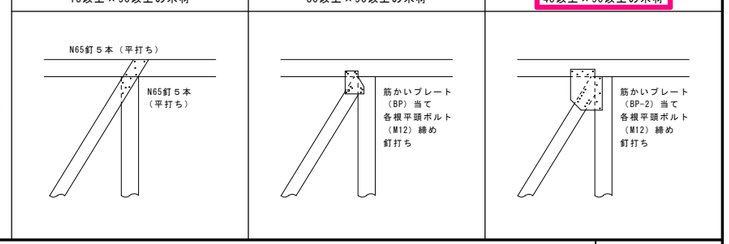


表三の仕口　（ぬ）



筋かい端部の仕口

15以上×90以上の木材	30以上×90以上の木材	45以上×90以上の木材



承 認	設 計	担 当	

縮　尺　S=1:100

設計年月日

工事名称　長衛小屋トイレ改修工事

図面名称　軸組 継手・仕口リスト

No. A- 26